

# 赤十字概論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」コミュニティ貢献 「3」探求 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：SBRC100

○角田敦彦

## ■ 授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

## ■ 到達目標

1. 国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
2. 赤十字と国際人道法の基本的な内容や赤十字標章の正しい使い方について自分の言葉で説明できる。
3. 人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化について自分なりの意見を持つことができる。
4. 学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

## ■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。科目担当者の実務経験から、人道支援に関する具体的な事例を取り上げ、映像等も交えて紹介する。

特に授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>ガイダンス：授業の進め方について</b> <b>国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン</b> 事前学修：[30分] 国際赤十字運動に関する記事等を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	<b>国際赤十字のしくみと活動</b> 事前学修：[30分] 国際赤十字に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	<b>日本赤十字社のしくみと活動</b> 事前学修：[30分] 日本赤十字社の組織・活動に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	<b>赤十字運動の基本原則：人道 公平 中立 独立 奉仕 単一 世界性</b> 事前学修：[30分] 赤十字運動の基本原則について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	<b>戦争の歴史と国際人道法</b> 事前学修：[30分] 国際人道法に関する参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	<b>現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法</b> 事前学修：[30分] 現代の武力紛争の特徴について資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	<b>赤十字標章の意味と適正な使用</b> 事前学修：[30分] 赤十字標章について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	<b>国際社会における赤十字の役割</b> 事前学修：[30分] 現代の人道危機に関する報道記事などを検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

## ■教科書

授業の中で、適宜資料を提示する。

## ■参考書、参考資料等

デュナン, H (1959). ソルフェリーノの思い出. 日本赤十字社

井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂

枘居孝・森正尚(2014). 新版 世界と日本の赤十字. 東信堂

ピクテ, J (1979/2006). 解説 赤十字基本原則. 東信堂

その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

## ■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、実施後 7 日以降 Glexa 上にて、正答及び解説の掲示により行う。

## ■他の授業科目との関連

後期の赤十字国際活動論、3・4 年次の赤十字国際活動論(演習)は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

## ■成績評価の仕方

1. 授業への取組み 20 %      2. 試験 80 %

## ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。または随時、電子メールで質問を受け付ける。

# 心理学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHU100

○遠藤公久

## ■ 授業の目的

本講義では、人間の認知、感情、行動の諸特徴の基本的な心のしくみについて、ライフサイクルという時間と心の発達のあり方について、そして社会とのかかわりについて、心理学の基本的知識を理解し、心理臨床あるいは看護・介護にどのようにつながるかについても考察する。

## ■ 到達目標

1. 人の心のしくみについて理解する。
2. 人の心の発達について理解する。
3. 人の心と社会とのかかわりについて理解する。

## ■ 学習の進め方

1. 各単元ごとに、具体例を挙げながらわかりやすく講義形式によって説明する。基本的に毎回視聴覚教材を用いる。
2. 毎回授業の課題と感想(あれば不明な点)について記述を求め、質問には次の講義冒頭に説明する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション：心を科学するとは</b> 事前学修：[15分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 配布資料に目を通しておく	講義	遠藤
2	<b>心のしくみ1：感覚と知覚(錯覚はなぜ起こるのか)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
3	<b>心のしくみ2：記憶と忘却(どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
4	<b>心のしくみ3：学習1(人が縁起をかつぐのはなぜか)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
5	<b>心のしくみ4：学習2(人はなぜ攻撃するのか)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
6	<b>心のしくみ5：感情と動機(感情はなぜ生れるか？ 意欲を高めるにはどうすればよいか)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
7	<b>心の発達1：心が発達するとは？</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
8	<b>心の発達2：乳児期(赤ちゃんの能力はすごい！)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
9	<b>心の発達3：幼児・児童期(子どもの世界観ってどうなっているの？)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤

No	内容	形式	教員
10	<b>心の発達4：青年期(アイデンティティに悩む若者、悩まない若者)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
11	<b>心の発達5：中年期・老年期(中年期の危機って？ 老いても発達するとは？)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
12	<b>心と社会1：対人関係の心理(人の印象はどう作られるのか、魅力的な人とは？)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
13	<b>心と社会2：対人関係の心理2(愛すること、信じること、でもときに危険な思い込みも)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
14	<b>心と社会3：集団心理(集団にいるときの心理の光と影)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤
15	<b>心と社会4：災害心理学(災害時の「こころのケア」とは)</b> 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく グレクサの確認テストを実施しておく	講義	遠藤

## ■ 教科書

遠藤公久 (2019) 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する 弘文堂

## ■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

## ■ フィードバックの仕方

レポートの結果については、後期授業前にいつでも返却可能です。返却希望者は研究室まで来てください。

## ■ 他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はない

## ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 課題(30%) 3. レポート(60%)で総合的に判断する。

## ■ オフィスアワー・研究室等

金曜日 12:30 - 13:00 遠藤(405 研究室) これ以外ではメール：k-endo@redcross.ac.jp かグレクサによるメールでお問合せください。

## ■ 受講上の注意事項

遠隔授業に変更する場合には事前にお知らせします。

# 身体運動理論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHU150

○白井美穂

## ■ 授業の目的

身体運動やスポーツを習慣化し健康を維持・向上していくことは、社会で活躍するためにも、自身が人生を豊かに過ごすためにも必要なことである。また、医療従事者は高齢化が進む日本において人々が健康長寿に向かうよう、医療・福祉、地域、教育の現場で各年齢に適した健康管理方法を指導、実践する役割を担っている。本講義では、身体運動やスポーツを、安全に、効果的に、楽しく実施するために必要な基本的知識を学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・身体運動やスポーツを習慣化し、健康維持・向上していくための具体的な手段と方法を習得する。
- ・医療従事者として健康と運動について自らの考えを述べられる。
- ・医療・福祉・地域：教育の場で各年齢、環境に適した健康管理法を提案できる知識と技術を習得する。

## ■ 学習の進め方

基本的に講義形式で行うが、演習も含まれる。

基本的に対面の授業であるが、状況により、遠隔授業で行う場合もある。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[30分] 健康と運動についての自身のイメージをノートに記入する。 事後学修：[30分] 授業を受けて事前学習で行ったイメージについて振り返り、感想をノートに記入する。	講義	白井
2	<b>健康と運動</b> 事前学修：[30分] 運動が心身に与える影響について調べる。 事後学修：[30分] 授業で皆の意見を聞いて感想をノートに記入する。	講義・演習	白井
3	<b>自己肯定感と健康</b> 事前学修：[30分] 自分自身についてどのような性格か、どのようなことが好きか苦手か客観的にノートに書きだす。 事後学修：[30分] 授業を受けて気付いたこと、今後の課題などをノートに記入する。	講義	白井
4	<b>自分に合った運動処方作成</b> 事前学修：[30分] 自分自身の健康について考え、健康を考えて実践していること、または今後行いたいことについてノートに記入する。 事後学修：[30分] 運動処方を作成する。	講義・演習	白井
5	<b>健康と栄養①自分に必要な栄養素</b> 事前学修：[30分] 自分が普段どのような食事をしているか振り返り、ノートに記入する。 事後学修：[30分] 授業を受けて、実践してみたい食事法を実践し、感想をノートに記入する。	講義	白井
6	<b>健康と栄養②栄養バランスの取れた食事</b> 事前学修：[30分] 一汁三菜のメニューをノートに図も含め記入してくる。 事後学修：[30分] 自分自身の健康や家族や周囲の人の健康と栄養について考察し、ノートに記入する。	講義・演習	白井
7	<b>高齢者が自宅でできる QOL を高める運動</b> 事前学修：[30分] 高齢者の運動と健康について調べ、ノートに記入する。 事後学修：[30分] 医療従事者として障害のある人と運動について自らの考えをノートに記入する。	講義	白井
8	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] これまでの講義を振り返り、興味があったこと、深めたいことをノートに記入する。 事後学修：[30分] 講義を受けて、今後自分自身で実践していきたい事をノートに記入する。	講義・演習	白井

## ■ 教科書

なし

**■ 参考書、参考資料等**

適宜プリントを配布する。

**■ フィードバックの仕方**

授業用ノート、提出物のフィードバックは授業時に行う。また、レポートのフィードバックは Glexa 上で行う。

**■ 他の授業科目との関連**

身体運動実技の内容の理解に基づき、より発展的・理論的な内容を扱う。

**■ 成績評価の仕方**

授業への取り組み 50 %、レポート 50 %

**■ オフィスアワー・研究室等**

随時、電子メールで質問を受け付ける。

# 身体運動実技

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 実務経験がある教員：— 科目番号：SBHU101

○白井美穂

## ■ 授業の目的

運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高める。また、自身の体力向上や心身のケアが自らできる実践力を身につける。さらに、看護に関わる者として医療や教育の現場で、健康の維持・増進・管理において実践可能なプログラムを身につけることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ①健康な心とからだを維持、増進、管理できる能力を身につける。
- ②身体運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる能力を身につける。

## ■ 学習の進め方

基本的に演習の授業です。その他、レポートや振り返りなど講義形式も含まれます。受講者の特徴、全体の進行状況から授業内容を変更することがあります。変更の場合はあらかじめ教員から連絡があります。※コロナ感染状況により、遠隔授業になる可能性もあります。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[30分] 健康について興味のあることをまとめてノートに記入する。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる。	講義	白井
2	<b>体ほぐし・ストレッチ</b> 事前学修：[30分] ストレッチについて調べる 事後学修：[30分] 自宅でストレッチを実践する	演習	白井
3	<b>目標設定・生活の中での運動の組み立て方</b> 事前学修：[30分] ストレッチポールについて調べる。 事後学修：[30分] 自宅でストレッチを実践する。	講義	白井
4	<b>ヨガ①肩こり、リラクソヨガ・ストレッチポール</b> 事前学修：[30分] 肩こり解消法を調べる。 事後学修：[30分] ヨガの歴史について調べる。また、ヨガを行った感想をノートに記入する。	演習	白井
5	<b>ヨガ②朝ヨガ、寝る前のヨガ・ストレッチポール</b> 事前学修：[30分] ヨガを行う。 事後学修：[30分] ヨガを継続して行ってみての感想をノートに記入する。	演習	白井
6	<b>ヨガ③代謝アップヨガ</b> 事前学修：[30分] ヨガを行う。 事後学修：[30分] 将来、医療従事者として働く際にヨガがどのような場面で行かされるのか調べてノートに記入する。	演習	白井
7	<b>ピラティス①体幹を鍛える</b> 事前学修：[30分] ヨガを行う。 事後学修：[30分] ピラティスの歴史について調べてノートに記入する。	演習	白井
8	<b>ピラティス②お腹を鍛える</b> 事前学修：[30分] ピラティスを行う。 事後学修：[30分] ピラティスを行ってみての感想をノートに記入する。	演習	白井
9	<b>ピラティス③筋力アップ</b> 事前学修：[30分] ピラティスを行う。 事後学修：[30分] 自分に合ったピラティスをノートに記入する。	講義	白井
10	<b>高齢者や在宅で行える誰でもでもできる運動の講義と実践(チェアヨガ・チェアトレ)</b> 事前学修：[30分] 高齢者に有効な運動について調べてノートに記入する。 事後学修：[30分] チェアヨガ・チェアトレを実践する。	講義・演習	白井

No	内容	形式	教員
11	<b>インディアカ：ルールや基礎を学ぶ</b> 事前学修：[30分] インディアカについて調べる。 事後学修：[30分] インディアカを行って、工夫したい点、改善したい点をノートに記入する。	演習	白井
12	<b>インディアカ：ゲームの実践</b> 事前学修：[30分] 改善点を発表できるように準備する。 事後学修：[30分] チームで戦術を考える。	演習	白井
13	<b>インディアカ：チームの戦術を考えての実践</b> 事前学修：[30分] チームで戦術を話し合う。 事後学修：[30分] インディアカを行ってみての感想をノートに記入する。	講義・演習	白井
14	<b>自分に合った運動を見つける</b> 事前学修：[30分] 自分に合った運動は何か考える。 事後学修：[30分] 自分に合った運動を実践する。	講義・演習	白井
15	<b>自分自身の運動処方を作成し、実践する</b> 事前学修：[30分] 運動処方とは何かを調べる。 事後学修：[30分] 自分自身の運動処方を作成、実践する。	講義・演習	白井

### ■ 教科書

授業内で資料を適宜提示する。

### ■ 参考書、参考資料等

なし

### ■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、授業内でフィードバックを行います。

### ■ 他の授業科目との関連

身体運動論 I (理論)と合わせて理解を深めます。

### ■ 成績評価の仕方

授業の出席・課題70% 事後課題レポート30%

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業前後に質問を受け付けます。また、休日を除く平日17時までメール (m-shirai@redcross.ac.jp) で対応します。

### ■ 受講上の注意事項

健康に留意して授業に取り組んでください。体調が悪いまたは怪我がある場合は事前に相談ください。



# 社会学概論

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」変化 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBSS150

○鷹田佳典

## ■ 授業の目的

社会学の学び方はいろいろありますが、そのひとつは社会学独自の「概念」を知ることです。これらの概念は、私たちが日常生活のなかで疑問に感じている事柄について、通常とは違う視点から考えるための手がかりを与えてくれます。本講義では毎回一つずつ社会学の基礎概念を取り上げ、その内容について解説しながら、これらの疑問に対する社会学なりの回答の仕方を提示します。こうした作業を通じて、社会学の基礎と思考方法を習得することが本講義の目的です。

## ■ 到達目標

1. 社会学の基礎と思考方法を習得する。
2. 社会学の概念の意味を理解する。
3. 社会学の概念を用いて日常で起こる社会事象を説明することができるようになる。

## ■ 学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>イントロダクション：社会学への招待</b> 事前学修：[30分] 社会学についての自分なりのイメージをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	<b>禁欲主義：なぜ西洋においてのみ資本主義は成立したのか？</b> 事前学修：[30分] 宗教改革の概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	<b>アノミー：なぜ人は自殺するのか？</b> 事前学修：[30分] ここ20年の日本の自殺に関する統計データを確認し、気づいたことごとをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	<b>印象操作：なぜ三者面談はしんどいのか？</b> 事前学修：[30分] 人前で自分がどのように振舞っているのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	<b>感情労働：なぜ人相手の仕事は疲れるのか？</b> 事前学修：[30分] バイトで大変なことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	<b>予言の自己成就：なぜ予言は当たるのか？</b> 事前学修：[30分] プラセボ効果についてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	<b>ラベリング：なぜ人は犯罪をおかすのか？</b> 事前学修：[30分] 犯罪が起きる理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	<b>相互行為儀礼：なぜ車内での化粧は迷惑なのか？</b> 事前学修：[30分] 公共交通機関を利用したときに乗客の様子を観察し、ノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
9	<b>権威主義的性格：なぜレポートの課題は指定されていた方がいいのか？</b> 事前学修：[30分] 日本人の国民性の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
10	<b>伝統／内部／他人指向型：なぜ星飛雄馬は巨人の星を目指すのか？</b> 事前学修：[30分] Z世代の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

No	内容	形式	教員
11	<b>モラトリアム：人はいつオトナになるのか？</b> 事前学修：[30分] アイデンティティの確立に必要な要素をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
12	<b>誇示的消費：なぜ「映え」が重要なのか？</b> 事前学修：[30分] 普段の消費を振り返り、その特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
13	<b>マクドナルド化：なぜ飲食店の椅子は硬いのか？</b> 事前学修：[30分] ファストフードレストランが増える理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
14	<b>リスク：なぜ折りたたみ傘を持って外出するのか？</b> 事前学修：[30分] 身の回りにあるリスクをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
15	<b>リキッドモダン：なぜ断捨離が流行るのか？</b> 事前学修：[30分] 断捨離ブームについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

### ■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

### ■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

### ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を行います。

### ■ 他の授業科目との関連

臨床社会学と関連します。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、定期試験(60%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

①月曜日、②お昼休み、③ 427 研究室

# 日本国憲法

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 「3」成長 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBSS151

○川口かしみ

## ■ 授業の目的

憲法は、国家のあり方を定める最高法規です。それは、私たちの自由や権利を保障しており、私たちの生活に非常に密着に関係しています。本講義は、憲法の基本構造を理解することを目的としています。本講義では、憲法の背景にある立憲主義の理念と歴史についても検討し、憲法の理解を深め、更なる憲法の知識をつけるための出発点にしたいと思います。

## ■ 到達目標

①憲法の仕組みを理解する。②自分の身の周りで生じる憲法問題について、受講生が主体的に考える力を身に着ける。

## ■ 学習の進め方

この授業は遠隔で Zoom を用いて行います。ハンドアウトを Glexa 上にアップしますので、各自で印刷をして講義に臨んでください。毎週の講義のなかでは受講生に小レポート課題(コメントシート)を出します。この取り組みを通じて、各自が主体的に考え、自分なりの考えを持ちそれを表現していただきますので、積極的に講義に参加してください。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[20分] 憲法について、高等学校で使っていた教科書を読み返しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、憲法の概念、意味、分類、特徴を整理しておく。	オリエンテーションと講義 (前半で、本講義の進め方について説明を行ない、後半で憲法の理解の前提となる基礎的な知識について講義する。)	川口かしみ
2	<b>憲法と立憲主義</b> 事前学修：[20分] 立憲主義とは何かを調べて、その考え方を把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、立憲主義の意味、明治憲法と日本国憲法の違いを復習する。	講義	川口かしみ
3	<b>権力分立の原理</b> 事前学修：[20分] 日本の権力分立制を調べて、その役割を把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、特に権力分立の原理、民主政治との関係を復習する。	講義	川口かしみ
4	<b>国民主権と天皇制</b> 事前学修：[20分] 日本国憲法と明治憲法における「天皇」における違いを把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、国民主権の意味と明治憲法下との比較を通して日本国憲法下における「天皇」の役割や地位を復習する。	講義	川口かしみ
5	<b>平和主義</b> 事前学修：[20分] 憲法9条が成立した背景を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、平和主義下における憲法9条の法規範性や、同条が放棄した「戦争」の意味を復習する。	講義	川口かしみ
6	<b>基本的人権総論</b> 事前学修：[20分] どのように人権が類型化されているのかを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、歴史を踏まえて、人権の類型や享有主体を整理しておく。	講義	川口かしみ
7	<b>幸福追求権</b> 事前学修：[20分] 日本国憲法のなかでの幸福追求権の位置づけを調べて把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、幸福追求権の意味や権利性、さらに具体的内容を復習しておく。	講義	川口かしみ

No	内容	形式	教員
8	<b>法の下での平等</b> 事前学修：[20分] 日本国憲法 14 条の意味を調べ、その条文に関して学界や判例のなかで理解されている「平等」を把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、憲法 14 条における「平等」の意味を確認しながら、「尊属殺重罰規定最高裁判決」を題材として、同判決が示した平等の論理などを復習しておく。	講義	川口かすみ
9	<b>精神的自由権(1)</b> 事前学修：[20分] 人権における精神的自由権の位置づけ、「信教の自由」の内容には何かがあるのか、「政教分離」とは何か、を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、人権のなかでの精神的自由権の位置づけを踏まえながら、授業で扱った「思想・良心の自由」、「信教の自由」、「学問の自由」の内容を復習しておく。	講義	川口かすみ
10	<b>精神的自由権(2)</b> 事前学修：[20分] 表現の自由と民主主義の関係、「知る権利」とは何か、を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、表現の自由はなぜ保障されなければならないのかを復習しておく。	講義	川口かすみ
11	<b>経済的自由権</b> 事前学修：[20分] 「財産権」、「居住移転の自由」、「公共の福祉」の内容を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、国民の生活における国家の役割を復習すると共に現代社会における国家の役割について自分なりに考えてみる。	講義	川口かすみ
12	<b>社会権</b> 事前学修：[20分] 社会権が成立した背景を把握しておく。憲法 25 条の「健康で文化的な最低限度の生活」が「権利として保障される」とはどういうことなのかを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、社会権の内容の確認とともに、特に、生存権がどのような権利であるのかを「朝日訴訟」と「堀木訴訟」などを題材として復習しておく。	講義	川口かすみ
13	<b>身体的自由権と手続き的権利</b> 事前学修：[20分] 「奴隷的拘束の禁止」、「苦役の禁止」、「適正手続」とは何かを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、奴隷的拘束からの自由や適正手続きの保障の内容を復習すると同時に、それらがなぜ憲法に規定されているのかを考える。	講義	川口かすみ
14	<b>国務請求権と参政権</b> 事前学修：[20分] 「請願権」、「裁判を受ける権利」、「国家賠償請求権」、「刑事補償請求権」、「選挙権」、「被選挙権」などとは何かを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、国務請求権と参政権のそれぞれの内容を復習すると同時に、なぜ国務請求権と参政権が保障されることが重要なのかを国民との関係から自分なりに考えてみる。	講義	川口かすみ
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] これまで配布したハンドアウトを読み直しておく。 事後学修：[60分] 講義を踏まえて、期末試験に向けて重要だと思われる部分はノートにまとめて復習しておく。	講義	川口かすみ

## ■ 教科書

教科書は指定しません。毎回の講義でハンドアウトを配布(Glexa にアップ)します。

## ■ 参考書、参考資料等

差し当たり、次の文献を紹介します。詳しくは、講義の際に指示します。

芦部信喜(高橋和之補訂)(2019年). 憲法. 第7版. 岩波書店.

川岸令和・遠藤美奈・君塚正臣・藤井樹也・高橋義人(2016年)憲法. 第4版. 青林書院.

岡田順太・淡路智典・今井健太郎編(2020年). 判例キーポイント憲法. 成文堂.

## ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、講義の最終回に、解説資料の配布を通じて行う。解説資料では、当該試験問題に対する回答で必要な論点やキーワードの解説をする。

## ■ 他の授業科目との関連

特になし。

## ■ 成績評価の仕方

講義内に課す課題(小レポートを通じて取り組み評価を行う) 30 %、期末試験 70 %。

## ■ オフィスアワー・研究室等

基本的に授業終了後に Zoon 上で質問を受け付けます。

# 数学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBNS150

○岩田光弘

## ■ 授業の目的

データを分析するための基礎力となる数学及び統計学の基本を習得する。

## ■ 到達目標

1. 高校数学の基本的知識、基本解法を習得する(「データの分析」「場合の数・確率」「確率分布と統計的な推測」)。
2. 簡単な統計用語の意味を理解し、基本的な計算ができる。
3. 論理的、合理的、数理的思考ができる。
4. 身近な事象や統計について問題意識をもつ。
5. 必修科目「保健統計学」の受講をスムーズにする。

## ■ 学習の進め方

授業の展開は講義を主体とするが、演習を随時行って、理解を確実にする。また適宜演習問題を配布するので各自が取り組み、理解度を確認し、不明点を解決していくことを勧める。さらに生きた知識の獲得のためにそれらの一部についてはレポートとして提出を求めることや、グループ単位での意見交換等を行うこともある。教員からの講義だけではなく、双方向の授業を目指すため、受講者の積極的な参加を期待する。※演習時には電卓を使用することもある。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データを整理するための基礎(1)：平均値とグラフ、五数要約、箱ひげ図 事前学修：[30分] 高校数学 I 「データの分析」内容の復習 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
2	データを整理するための基礎(2)：平均値とグラフ、五数要約、箱ひげ図 事前学修：[30分] 高校数学 I 「データの分析」内容の復習 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
3	データを分析するための基礎(1)：平方根、多項式、分散、標準偏差、偏差値 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用や計算法の確認) 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
4	データを分析するための基礎(2)：平方根、多項式、分散、標準偏差、偏差値 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
5	相関関係を調べるための数学基礎(1)：関数(1次関数と2次関数)、方程式 事前学修：[30分] 高校数学 I 「2次関数」内容の復習 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義(オンデマンド)	岩田 光弘
6	相関関係を調べるための数学基礎(2)：関数(1次関数と2次関数)、方程式 事前学修：[30分] 高校数学 I 「2次関数」内容の復習 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義(オンデマンド)	岩田 光弘
7	相関関係を調べるための数学(1)：散布図と相関関係 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
8	相関関係を調べるための数学(2)：散布図と相関関係 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
9	ばらばらのデータを分析するための数学基礎(1)：集合、場合の数、確率、数列 事前学修：[30分] 高校数学 A 「場合の数・確率」内容の復習 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
10	ばらばらのデータを分析するための数学基礎(2)：集合、場合の数、確率、数列 事前学修：[30分] 高校数学 A 「場合の数・確率」内容の復習 事後学修：[30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘

No	内容	形式	教員
11	<b>ばらばらのデータを分析するための数学(1): 確率変数と確率分布、期待値と分散</b> 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
12	<b>ばらばらのデータを分析するための数学(2): 確率変数と確率分布、期待値と分散</b> 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
13	<b>連続するデータを分析するための数学基礎: 極限、積分の基礎</b> 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
14	<b>連続するデータを分析するための数学(1): 連続型確率変数と確率密度関数</b> 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘
15	<b>連続するデータを分析するための数学(2): 連続型確率変数と確率密度関数</b> 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] コメントの提出・復習による不明点の解決・問題演習への取り組み	講義・演習	岩田 光弘

### ■ 教科書

授業時にプリントを配付する。

### ■ 参考書、参考資料等

永田 靖(2005). 統計学のための数学入門 30 講(科学のことばとしての数学). 朝倉書店.  
永野 裕之、岡田健介(2018). 統計学のための数学教室. 第 4 版. ダイヤモンド社.

### ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験実施後 3 週間以内に口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

### ■ 他の授業科目との関連

2年次の科目「保健統計学」への橋渡しとなる導入知識を学ぶ。「保健統計学」に不安を抱く全ての学生に対して積極的に受講を勧める。

### ■ 成績評価の仕方

定期試験 70%、授業内での取り組みおよび課題提出 30%

### ■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義前後、講義中に受け付ける。それ以外には電子メールや事前に担当教員に予約の上、オンラインシステム(Zoom)などを利用して受け付ける。

### ■ 受講上の注意事項

随時復習から行うため、高校生のととき数学に不安があった学生の受講も歓迎する。内容を自分のものにするためには毎回の授業、課題への取り組みが大切である。また不明点は早い段階で調べたり質問をしたりして解決していくこと。

# 生物学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBNS100

○有賀早苗

## ■ 授業の目的

生物に共通した細胞・分子レベルの仕組みから生物の特性を知り、ヒトと生態系との共生を考える知識基盤を築くと共に、遺伝子操作・再生医療等の科学的基礎理解から健全な生命倫理観の醸成基盤も築きます。

## ■ 到達目標

1. 生物が物質から成る細胞を単位に構成されることを理解する
2. 遺伝情報に基づく生物に共通した流れであるセントラルドグマを理解する
3. 細胞・分子レベルから癌等の疾患を捉える
4. 遺伝子操作・再生医療等の基本的な仕組みを理解する

## ■ 学習の進め方

授業はパワーポイントを用いた講義形式で行います。毎回の授業の最後には、その回の重要事項を整理して提示しますので、復習に活用してください。教室での対面授業とは別に、オンデマンド視聴できるビデオを、授業実施後に配信しますので、こちらも必要に応じて復習・確認に活用してください。資料配布はしません。授業やビデオ視聴において、「話を見聞きしてノートを取る」というのも重要な学習要素です。一言一句すべてを書き取ったり記憶したりしなくてはならないものではありません。必要な情報を選び取り、忘れないように書き留める力をつけてほしいと思います。授業の中で紹介する書籍を図書館等で参照するのもよいでしょう。

対面実施授業の終盤で提出していただく小課題には、その回のキーワードと、講義内容に関する疑問点等を記入していただきます。疑問点については、次回以降にクラスで共有し、回答します。自身では気づけなかったことへの理解も広げ、共に学ぶ意義を体験していただきたいと思っております。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>生物・生命の特性 ～物質から成る生物と無生物との違い</b> 事前学修：[30 分] シラバスをよく読んで、この科目で学ぶこと、学習目標等を把握し、疑問点・不明点を整理しておく。 事後学修：[30 分] 授業ノートの読み返し、オンデマンドビデオ視聴を通して、学習内容を確認し、疑問点・不明点があればノートに書き留める。	講義	有賀早苗
2	<b>タンパク質① ～生体高分子であるタンパク質の基本的構造と性質</b> 事前学修：[30 分] 今回の授業内容について、関連事項を軽く調べ、学習したいことや疑問に思うことを挙げてノートに書き留めておく。以下、14 回目の授業まで同じ。 事後学修：[45 分] 授業ノートの読み返し、オンデマンドビデオ視聴を通して、学習内容を確認し、疑問点・不明点があればノートに書き留める。以下、14 回目の授業まで同じ。	講義	有賀早苗
3	<b>タンパク質② ～タンパク質の立体構造と生理活性</b> 事前学修：[30 分] 第 2 回授業と同様。 事後学修：[45 分] 第 2 回授業と同様。	講義	有賀早苗
4	<b>核酸① ～核酸の構造と機能(DNA を中心に)</b> 事前学修：[30 分] 第 2 回授業と同様。 事後学修：[45 分] 第 2 回授業と同様。	講義	有賀早苗
5	<b>核酸② ～核酸の構造と機能(RNA を中心に)</b> 事前学修：[30 分] 第 2 回授業と同様。 事後学修：[45 分] 第 2 回授業と同様。	講義	有賀早苗
6	<b>細胞 ～細胞の構造と機能</b> 事前学修：[30 分] 第 2 回授業と同様。 事後学修：[45 分] 第 2 回授業と同様。	講義	有賀早苗
7	<b>生命の誕生と生物の進化</b> 事前学修：[30 分] 第 2 回授業と同様。 事後学修：[45 分] 第 2 回授業と同様。	講義	有賀早苗
8	<b>遺伝情報の複製と細胞周期</b> 事前学修：[30 分] 第 2 回授業と同様。 事後学修：[45 分] 第 2 回授業と同様。	講義	有賀早苗



No	内容	形式	教員
9	<b>遺伝情報の発現</b> 事前学修：[30分] 第2回授業と同様。 事後学修：[45分] 第2回授業と同様。	講義	有賀早苗
10	<b>遺伝子発現の調節①</b> 事前学修：[30分] 第2回授業と同様。 事後学修：[45分] 第2回授業と同様。	講義	有賀早苗
11	<b>遺伝子発現の調節②</b> 事前学修：[30分] 第2回授業と同様。 事後学修：[45分] 第2回授業と同様。	講義	有賀早苗
12	<b>細胞の情報伝達</b> 事前学修：[30分] 第2回授業と同様。 事後学修：[45分] 第2回授業と同様。	講義	有賀早苗
13	<b>遺伝子操作の基本</b> 事前学修：[30分] 第2回授業と同様。 事後学修：[45分] 第2回授業と同様。	講義	有賀早苗
14	<b>クローン技術と再生医療</b> 事前学修：[30分] 第2回授業と同様。 事後学修：[45分] 第2回授業と同様。	講義	有賀早苗
15	<b>総復習</b> 事前学修：[30分] これまでの授業内容について、疑問・不明点を挙げてノートに書き留めておく。 事後学修：[45分] 定期試験に向けて、授業ノートの読み返し、オンデマンドビデオ視聴を通して、学習内容を確認する。	講義	有賀早苗

## ■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

## ■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

## ■ フィードバックの仕方

メールや小課題等で寄せられた質問は、できるだけ授業の中で共有し、回答する。筆記試験については、採点した答案用紙の返却を通じて行う。

## ■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能」や「疾病の成り立ちと回復の促進」など、生化学・生理学を中心とする医学系科目を学ぶための基礎的な知識基盤を築く。

## ■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 85 % 2. 授業内容に関する小課題 15 %

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後、あるいは随時メールで、質問を受け付けます。

## ■ 受講上の注意事項

広い生物学の分野で、細胞生物学、分子生物学を主体に、生物に共通した仕組みから生物としてヒトを捉え、生活・健康を考える基盤を提供しますが、微生物や動植物など他の生物から見えてくる事象も紹介します。特定の教科書に沿わず、様々な教科書や大学公開講義等から選んだわかりやすい図表・動画等を使って進めていきます。大学入試科目として生物を選択した人にも、高校でほとんど生物を学ばなかった人にも、興味・関心を持って視聴し、重要な事項を習得してもらえるよう努めます。

# 化学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBNS101

○三好洋

## ■ 授業の目的

医療関連の専門科目の理解および医療従事者としての業務に必須な化学の基礎的考え方、生命現象や医療技術に関する生体関連物質の性質から物事を考えるために必要な化学の基礎的な知識を学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 医療に関係する物質の性質について化学的に説明できる。
2. 水および水溶液について、化学的に説明できる。
3. 水溶液の濃度、浸透圧、pH、緩衝液、透析について説明できる。
4. 細胞内で起こる基本的な化学反応の仕組みを説明できる。
5. 生命現象や医療技術に関連する重要化合物の構造と性質・利用法について説明できる。

## ■ 学習の進め方

1. パワーポイントによる講義・解説、インターネット上の関連動画サイトの紹介などによって講義を進める。
2. 講義内容の要旨・スライドなどは講義の前週に Glexa によって公開する。
3. 講義の理解度を Glexa への確認テストの提出によって行い、確認テストに対して解説・コメントをフィードバックする。受講生はフィードバックから理解度を確認する。
4. 講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5. 講義内容に応じた化学的な実演を行う場合がある。
6. 講義の最終回には模擬試験を行って理解度を確認を行う。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>講義内容の概要説明-オリエンテーション・化学の必要性-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
2	<b>水-性質・状態・身体と水-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
3	<b>元素・原子・分子-融点・沸点、身体の中の分子・物質の状態、酸素と呼吸-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
4	<b>溶液の濃度-溶解、濃度、有効数字、物質質量、血糖値、生理食塩水-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
5	<b>溶液の性質-沸点上昇・凝固点降下と滅菌、浸透、脱水、透析-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好

No	内容	形式	教員
6	<b>酸と塩基-酸性・塩基性、pH、緩衝液、体液-</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] Glexa に UP した確認テストの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
7	<b>酸化と還元</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
8	<b>化学反応と化学平衡</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
9	<b>透析と浸透圧</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
10	<b>化学結合-原子軌道と分子の形</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
11	<b>有機化学の世界、有機化合物と性質-アルカン-</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
12	<b>有機化合物と性質-アルケン・アルキン-</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
13	<b>酸素・窒素・ベンゼン環を含む有機化合物</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
14	<b>生体高分子の化学・バイオテクノロジー・2032年の化学-核酸、タンパク質-</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
15	<b>模擬試験と解説</b> 事前学修：[30分] これまでの講義資料の見直し 事後学修：[60分] 模擬試験解説の見直し	講義	三好

## ■ 教科書

土居 純子 (2017). 栄養科学イラストレイテッド基礎化学. 羊土社  
教科書のほかに、毎回、講義概要・スライドを Glexa で配布する。  
教科書は 8 回まで使用し、9-14 回は教科書代わりの資料を別に Glexa で配布する。

## ■ 参考書、参考資料等

Glexa での講義概要・スライドの配布資料をダウンロードして講義に臨んでください。

さらに深く興味がある学生には参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。

野島 高彦(2012). はじめて学ぶ化学. 化学同人

## ■ フィードバックの仕方

毎回の確認テストのフィードバック・解説は Glexa によって行う。

模擬試験のフィードバックは最終回の講義時間内に行う。

## ■ 他の授業科目との関連

他の授業科目と直結することは困難であるが、代謝、生化学、生体防御に関連した科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学(自然科学)的な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

## ■ 成績評価の仕方

講義・確認テストへの取り組み 40 %、定期試験 60 %で評価する。

## ■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、講義中・後でも気軽に質問してください。

Glexa および電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせに応じます。

## ■ 受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっています。講義前に Glexa によって公開する講義概要・スライドに目を通しておくことを推奨します。高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、身近な例を交えながら医療に必要な化学の考え方と知識を紹介します。可能な限り平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。指定教科書は生命現象および医療技術に繋がる平易な表現が用いられているものを採用しています。講義では教科書の内容よりもさらに看護に役立つ情報に触れるようにします、これまで化学を学んでも「化学なんか役に立たない」と考えていた人にとって有意義な講義にします。

# 情報学概論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」連携 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBIS150

○鷹田佳典、岡田彩子、逸見功

## ■ 授業の目的

情報の意味と伝達、医療・患者情報の特性、医療・患者情報に関する倫理と情報セキュリティについて学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 情報とは何かを説明できる。
2. 人間・社会と情報の多様な関わりを説明できる。
3. 医療や看護の提供にあたってどのような情報が必要かを述べるができる。
4. 医療・患者情報の扱いにおけるセキュリティの重要性と医療者の責務について説明できる。

## ■ 学習の進め方

本講義は、第1回(担当：逸見)で「情報とは何か」を学び、続く第2回～第7回で(担当：鷹田)で「人間・社会と情報」を中心テーマに関連するトピックについて学ぶ。その際、医療情報の特性や取り扱い、(医療情報の伝え方や管理の仕方など)についても考えていく。その上で第8回(担当：岡田)で「医療・看護における情報および倫理」について学ぶ。

授業は講義を基本にして、グループディスカッションを取り入れながら進める。

授業終了時に配布する用紙に、授業の重点項目のまとめ、理解度、質問を記入してもらう。次の授業のはじめに、質問に対する回答として補足説明することによって、理解を深める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>情報とは何か</b> 事前学修：[30分] 情報の定義について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	逸見
2	<b>情報を伝える①(なぜ情報がうまく伝わらないことがあるのか?)</b> 事前学修：[30分] 手紙、電話、メールのメディアとしての特徴をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
3	<b>情報を伝える②(悪いニュースをどのように伝えればよいのか?)</b> 事前学修：[30分] メディアごとの特徴をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・討議	鷹田
4	<b>情報を見分ける①(なぜうわさは広がるのか?)</b> 事前学修：[30分] 真偽が定かではない情報に接したときにどう行動するかをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
5	<b>情報を見分ける②(医療情報をうまく活用するにはどうすればよいのか?)</b> 事前学修：[30分] 医療情報サイトをひとつ選び、その特徴や信頼性などをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・討議	鷹田
6	<b>情報に基づいて決める①(なぜ人はときに非合理と思われるような意思決定を行うのか?)</b> 事前学修：[30分] 普段どのように意思決定をしているのかをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
7	<b>情報に基づいて決める②(よい意思決定を行うにはどうすればよいのか?)</b> 事前学修：[30分] 意思決定支援ガイドをひとつ選び、そのポイントをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・討議	鷹田
8	<b>医療・看護情報と倫理</b> <b>看護学実習における適切な情報管理とは</b> 事前学修：[30分] 本学の看護学実習における適切な情報管理のガイドラインを精読し、疑問点をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料および看護学実習における適切な情報管理ガイドラインを読み返す。	講義・討議	岡田

## ■教科書

使用しない。必要に応じて資料を配付する。

## ■参考書、参考資料等

第1回

劉継生, 木村富美子(2012). はじめて学ぶ情報社会. 昭和堂.

西垣通(2004). 基礎情報学—生命から社会へ. NTT 出版.

2~7回

北澤京子(2009)『患者のための医療情報収集ガイド』ちくま新書

中山健夫(2008)『健康・医療の情報を読み解く—健康情報学への招待』丸善

## ■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは提出後3週間以内に口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。具体的な返却日時、方法はグレクサにて連絡する。

## ■他の授業科目との関連

2年次に開講される「情報科学」「保健統計学」の基礎的な学習になります。

## ■成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、レポート 80%(60%+20%)

## ■オフィスアワー・研究室等

逸見：授業終了後1時間程度 4階 非常勤講師室

鷹田：月曜日 お昼休み 研究室 427

岡田：授業終了後1時間程度 研究室 410

# 日本語の表現

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目番号：SBLS150

○越後敬子

## ■ 授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 日本語の語彙を増やす。
2. 敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3. 敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4. 手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5. 自分の考えを口頭で述べるができるようにする。

## ■ 学習の進め方

1. 授業の前半で「日本語」に関する講義を行い、後半はその内容に基づいた課題に取り組む。
2. 課題を提出して採点を受け、自分の日本語運用能力について知り今後に生かす。
3. 授業の終盤には、受講生自らがテーマに沿ったスピーチを行う。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>「日本語検定」にチャレンジ</b> 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、疑問点がなかったかどうか改めて考える。	講義・演習(オンデマンド)	越後
2	<b>文の構造①—主語・述語・修飾語・被修飾語—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
3	<b>文の構造②—助詞等—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
4	<b>敬語・敬意表現①—役割・種類等—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
5	<b>敬語・敬意表現②—練習問題—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
6	<b>敬語・敬意表現—課題—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
7	<b>手紙の書き方①—構成—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
8	<b>手紙の書き方②—練習問題—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

No	内容	形式	教員
9	<b>手紙の書き方③—課題—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習(オンデマンド)	越後
10	<b>メールの書き方</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
11	<b>日本語弱者について考える①—定義—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
12	<b>日本語弱者について考える②—課題—</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
13	<b>スピーチ①</b> 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後
14	<b>スピーチ②</b> 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、よかった点を考える。	講義・演習	越後
15	<b>スピーチ③</b> 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後

### ■ 教科書

プリントを配布する。

### ■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

### ■ フィードバックの仕方

提出された課題は、翌週あるいは翌々週の授業時に返却する。

### ■ 他の授業科目との関連

日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み40%、課程提出60%

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

### ■ 受講上の注意事項

主体的な参加を希望する。



# 英語RWI

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBL100

○川崎修一

## ■ 授業の目的

リーディングでは種類、長さ、分野の異なるさまざまなタイプの英文を、目的に応じて読むことができる能力を養成する。じっくり読んだり、概略を理解したり、速く読むといった作業を通じて、英文に対する応用力を身につけることを目指す。また、ライティングでは、いろいろな種類の英語を書くことに慣れること、和文英訳をすることなく書けるようになること、更には自分の意見を英語で述べることができるようになることを目的とする。

## ■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。  
英文のパラグラフが書けるようになる。

## ■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>Reading: Theory of Mind and Autism</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	<b>Writing: What is Paragraph?</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	<b>Reading: Nocebo Effects in Patients</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	<b>Writing: Topic Sentence, Supporting Sentences and Concluding Sentence</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	<b>Reading: Dental Health during Pregnancy</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	<b>Writing: Opinion Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	<b>Reading: Emergency Contraception</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	<b>Writing: Cause Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	<b>Reading: Why Swearing is Good for You</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	<b>Writing: Effect Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	<b>Reading: Language and Woman's Place</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
12	<b>Writing: Definition Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	<b>Reading: Synesthesia</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	<b>Writing 7: Problem/Solution Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	<b>Review</b> 事前学修：[30分] 1～14回の小テストの問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

### ■ 教科書

毎回プリントを配布します。

### ■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

### ■ フィードバックの仕方

Glaxa の Report に各回の課題及び英作文課題の添削を次回の授業までにフィードバックする。

### ■ 他の授業科目との関連

なし

### ■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

### ■ オフィスアワー・研究室等

4階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

### ■ 受講上の注意事項

\*この授業は、指定されたクラスで履修します。

# 英語RW I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBL5100

○遠藤花子

## ■ 授業の目的

リーディングでは種類、長さ、分野の異なるさまざまなタイプの英文を、目的に応じて読むことができる能力を養成する。じっくり読んだり、概略を理解したり、速く読むといった作業を通じて、英文に対する応用力を身につけることを目指す。また、ライティングでは、いろいろな種類の英語を書くことに慣れること、和文英訳をすることなく書けるようになること、更には自分の意見を英語で述べることができるようになることを目的とする。

## ■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

読んだ英語が書けるようになる。

## ■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>Reading 1</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	<b>Writing 1</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
3	<b>Reading 2</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	<b>Writing 2</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
5	<b>Reading 3</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	<b>Writing 3</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
7	<b>Reading 4</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	<b>Writing 4</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
9	<b>Reading 5</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	<b>Writing 5</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
11	<b>Reading 6</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
12	<b>Writing 6</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
13	<b>Reading 7</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	<b>Writing 7</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
15	<b>Reading 8</b> <b>まとめ</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[60分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

### ■ 教科書

その都度プリントを配布します。

### ■ 参考書、参考資料等

授業には辞書を持参して下さい。

### ■ フィードバックの仕方

Writing 課題は、課題が提出される度に授業時にフィードバックをして返却します。

Reading の筆記試験のフィードバックは試験実施後 3 週間以内に行う。希望に応じてメールや Zoom 等で行います。

### ■ 他の授業科目との関連

2 年次以降に開講される「RW Ⅲ」、「英語文献を読む」の基礎的な学習になります。

### ■ 成績評価の仕方

平常点(リアクション・ペーパー含む) 45 %

Writing 課題 25 %

定期試験 30 %

### ■ オフィスアワー・研究室等

火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

### ■ 受講上の注意事項

\*この授業は、指定されたクラスで履修します。

# 英語RWⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBL5151

○川崎修一

## ■ 授業の目的

英語RWⅠで学んだことを基に、更なるステップ・アップを目的とする。リーディングでは、さまざまな種類の英文を引き続き読むことにより、バランスのとれた読解力の伸長を図る。特に、単語力や読むスピードの向上を目的とする。また、ライティングでは、パラグラフの構成に始まり、時間順に語るパラグラフや理由を説明するパラグラフなど、パラグラフの基本を学ぶと同時に、作文の書き方も学び、自分の考え、説明などをわかりやすく書く能力を習得することを目的とする。

## ■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。  
英文パラグラフを書くことができる。

## ■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>Reading: Theory of Mind and Autism</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	<b>Writing: What is Paragraph?</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	<b>Reading: Nocebo Effects in Patients</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	<b>Writing: Topic Sentence, Supporting Sentences and Concluding Sentence</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	<b>Reading: Dental Health during Pregnancy</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	<b>Writing: Opinion Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	<b>Reading: Emergency Contraception</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	<b>Writing: Cause Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	<b>Reading: Why Swearing is Good for You</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	<b>Writing: Effect Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	<b>Reading: Language and Woman's Place</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
12	<b>Writing: Definition Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	<b>Reading: Synesthesia</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	<b>Writing 7: Problem/Solution Paragraph</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	<b>Review</b> 事前学修：[30分] 1～14回の小テストの問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

### ■ 教科書

毎回プリントを配布します。

### ■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

### ■ フィードバックの仕方

Glaxa の Report に各回の課題及び英作文課題の添削を次回の授業までにフィードバックする。

### ■ 他の授業科目との関連

なし

### ■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

### ■ オフィスアワー・研究室等

4階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

### ■ 受講上の注意事項

\*この授業は、指定されたクラスで履修します。

# 英語RWⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBL5151

○遠藤花子

## ■ 授業の目的

英語 RW I で学んだことを基に、更なるステップ・アップを目的とする。リーディングでは、さまざまな種類の英文を引き続き読むことにより、バランスのとれた読解力の伸長を図る。特に、単語力や読むスピードの向上を目的とする。また、ライティングでは、パラグラフの構成に始まり、時間順に語るパラグラフや理由を説明するパラグラフなど、パラグラフの基本を学ぶと同時に、作文の書き方も学び、自分の考え、説明などをわかりやすく書く能力を習得することを目的とする。

## ■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

医療英語の用語や表現を身に付けることができる。

自分の考えをまとめることができる。

英文パラグラフを書くことができる。

## ■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>Introduction</b> <b>Reading 1</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	<b>Writing 1</b> <b>The structure of a paragraph</b> <b>Brainstorming</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] Writing 課題に取り組む	講義・演習	遠藤
3	<b>Reading 2</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	<b>Writing 2</b> <b>Reasoning</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] Writing 課題に取り組む	講義・演習	遠藤
5	<b>Reading 3</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	<b>Writing 3</b> <b>Narrative Essay</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] Writing 課題に取り組む	講義・演習	遠藤
7	<b>Reading 4</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	<b>Writing 4</b> <b>Resume and Cover Letter</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] Writing 課題に取り組む	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
9	<b>Reading 5</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	<b>Writing 5</b> <b>Definition</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] Writing 課題に取り組む	講義・演習	遠藤
11	<b>Reading 6</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
12	<b>Writing 6</b> <b>Opinion Essay</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] Writing 課題に取り組む	講義・演習	遠藤
13	<b>Reading 7</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	<b>Reading 8</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] Writing 課題に取り組む	講義・演習	遠藤
15	<b>Review</b> 事前学修：[30分] プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] これまでの Reading でやったことを復習する。	講義・演習	遠藤

### ■ 教科書

毎回プリントを配布します。

### ■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

### ■ フィードバックの仕方

各回の課題は次回の授業までにフィードバックします。

### ■ 他の授業科目との関連

なし

### ■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

### ■ オフィスアワー・研究室等

4階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

### ■ 受講上の注意事項

\*この授業は、指定されたクラスで履修します。



# 英語 L S

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」成長 「3」探求 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBL5101

○ Edwards Wurzinger, Adriana E.

## ■ 授業の目的

This course aims at:

- ・ Facilitating the development of general EFL communication skills through a diversity of methods.
- ・ Introducing methods to help develop the students' critical thinking when interacting with patients and colleagues in a foreign language.
- ・ Helping to develop the students' self-confidence when using English for academic, nursing/medical, and general communication purposes;
- ・ Providing the students with the necessary English communication skills to facilitate their interaction in a diversity of nursing roles.

## ■ 到達目標

This course has been designed for non-native speakers of English who need to learn effective communication strategies to succeed in the nursing environment. Attention will be given to developing more effective listening comprehension and speaking skills, understanding the structure and organization of discussions specific to the medical and nursing profession, and delivering information clearly and effectively.

During the course, students will be strongly encouraged to work on developing their vocabulary, listening, reading and speaking skills according to the average standards necessary to successfully comprehend the topics under discussion.

As part of the requirements to complete this course, students will develop speaking projects on a topic of their interest (related to their nursing program) using the abilities acquired, with the final objective of demonstrating their skills in a presentation at the end of the term

## ■ 学習の進め方

This course will be conducted as per the guidelines of the Red Cross College of Nursing regarding COVID-19 protocols, and will proceed as a face-to-face or online course as deemed necessary and following the appropriate risk assessment.

Class activities, evaluations and homework assignments will be conducted entirely in English. Learning strategies throughout this course will include:

- Reading, writing and listening comprehension activities;
- Discussions and presentations;
- Individual and group projects;
- Analysis of audiovisual and web-based materials.

Weekly assignments are designed to help students develop their communication skills and acquire a strong command of the vocabulary and strategies needed in the nursing profession. Students are expected to complete the assignments and to actively participate in class.

As part of the requirements to complete this course, students will be asked to develop speaking projects on a topic of their interest (related to their nursing program) using the abilities acquired, with the final objective of demonstrating their skills in a presentation at the end of the term.

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>Course policies and guidelines. Assessment of language level. Introduction to the subjects of discussion and topics that will be included in the course. Basic vocabulary for the nursing professional.</b> 事前学修：[30分] Read the syllabus and check the course website – Prepare to introduce yourself and feel free to ask any questions you may have. 事後学修：[30分] Read the materials assigned, take notes and prepare to share your opinion and ask questions in class.	講義 – Lecture – Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
2	<b>Medical Vocabulary: Body, Organs, Systems and Medical Fields</b> 事前学修：[20分] Prepare your vocabulary list and create a glossary 事後学修：[30分] Complete the reading and writing activities assigned. Prepare your questions and comments	講義 – Lecture – Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.

No	内容	形式	教員
3	<b>Medical Vocabulary: Body, Organs, Systems and Medical Fields</b> 事前学修：[20分] Revise the vocabulary list you created, and prepare for the on-demand class. 事後学修：[40分] Complete the reading and listening assignments. Choose three possible topics/areas related to your major about which you would like to conduct research this term. Prepare to discuss your ideas.	On-demand	Edwards Wurzinger, Adriana E.
4	<b>Nursing: Roles and Careers</b> 事前学修：[20分] Revise the vocabulary lists and glossary. Prepare your questions and opinions. 事後学修：[40分] Complete the listening and reading assignments. Start looking for resources to support your research project.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
5	<b>Hospitals and Clinics: Areas, Specialized Locations, Equipment</b> 事前学修：[20分] Revise the vocabulary lists and glossary. Prepare your questions and opinions. 事後学修：[40分] Complete the listening and reading assignments. Create a final list of resources to support your research project and begin reading and summarizing content.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
6	<b>Hospitals and Clinics: Areas, Specialized Locations, Equipment</b> 事前学修：[20分] Revise the vocabulary lists and glossary. Prepare your questions and opinions. 事後学修：[40分] Complete the listening, reading and writing assignments. Advance your research project.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
7	<b>Revision and Preparation for the Midterm Exams</b> 事前学修：[20分] Revise contents and vocabulary. Prepare your questions. 事後学修：[50分] Work with your assigned partners. Prepare for the Midterm Exams presentations and discussion. Follow the instructions provided in class.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
8	<b>Midterm Exams. Presentations</b> 事前学修：[40分] Prepare your Midterm presentations with your assigned partners. 事後学修：[30分] Write your Midterm Exams reflections. Complete your assignments and advance on your research projects.	発表 - Pre- sentations	Edwards Wurzinger, Adriana E.
9	<b>Nurse - Patient Relations: Taking a Patient History</b> 事前学修：[30分] Read the assigned materials and prepare the vocabulary list / glossary. 事後学修：[40分] Complete the listening and reading assignments.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
10	<b>Nurse - Patient Relations: Putting a Patient at Ease</b> 事前学修：[30分] Complete the preliminary listening / reading. Prepare your questions and opinions. 事後学修：[40分] Complete the listening and reading assignments. Advance on your research projects.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
11	<b>Nurses in the Community: Vaccinations and Community Care</b> 事前学修：[30分] Complete the preliminary listening / reading. Prepare your questions and opinions. 事後学修：[40分] Complete the listening and reading assignments. Advance on your research projects.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
12	<b>Nurses in the Community: Elderly Care and Nursing Homes</b> 事前学修：[30分] Complete the preliminary listening / reading. Prepare your questions and opinions. 事後学修：[40分] Complete the listening and reading assignments. Advance on your research projects.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.
13	<b>Final Exams Preparation - Presentations: Revisions, corrections, and rehearsals.</b> 事前学修：[40分] Complete your presentation drafts - create slides and draft the speech. 事後学修：[40分] Practice the Final Exam presentation - Make corrections based on feedback and submit the final drafts by email before the deadline.	講義 - Lecture - Discussion	Edwards Wurzinger, Adriana E.

No	内容	形式	教員
14	<b>Final Exams (Session I). Presentations.</b> 事前学修：[50分] Final presentations (session I): preparations, practice and corrections.  事後学修：[30分] Prepare to provide feedback and reflections about the presentations you attended during the first exams session (class 14).	発表	Edwards Wurzinger, Adriana E.
15	<b>Final Exams (Session II). Presentations.</b> 事前学修：[50分] Final presentations (session II): preparations, practice and corrections. 事後学修：[30分] Prepare to provide feedback and reflections about the presentations you attended during the second exams session (class 15).	発表	Edwards Wurzinger, Adriana E.

## ■ 教科書

A selection of texts and resources will be provided throughout the course.

## ■ 参考書、参考資料等

A selection of texts and audiovisual resources will be provided throughout the course.

.

EFL/ESL sources specific to global nursing education programmes include:

- Allum, Virginia, and Patricia McGarr. Cambridge English for Nursing. Cambridge University Press, 2018.
- Baker, Cynthia et al. "Global standards for professional nursing education: The time is now." Journal of professional nursing: official journal of the American Association of Colleges of Nursing vol. 37,1 (2021): 86-92. doi:10.1016/j.profnurs.2020.10.001
- Grice, Tony, and Dee Borley. Everyday English for Nursing: An English Language Resource for Nurses Who Are Non-Native Speakers of English. Baillie & Tindall, 2009.
- Harrison, Adrienne. Flash on English for Nursing. ELI Publishing, 2016.
- World Health Organization. Global Standards for the Initial Education of Professional Nurses and Midwives. Department of Human Resources for Health, WHO, Switzerland, 2009. [http://www.who.int/hrh/nursing\\_midwifery/en/](http://www.who.int/hrh/nursing_midwifery/en/)

## ■ フィードバックの仕方

1. Feedback about class assignments and weekly homework will be provided on a rolling basis during every class.
2. Feedback about the midterm exams or presentations will be provided during the class following the date of the midterms, by email or virtually if students are absent or should online courses become the primary modality.
3. Feedback about the final exams and presentations will be provided by email within a week after the date of the final exam, or virtually if students are absent or should online courses become the primary modality.

## ■ 他の授業科目との関連

As established by College curriculum. Please consult your programme officer for details.

## ■ 成績評価の仕方

Students are expected to fulfill the following requirements:

- Completion of class and homework assignments.
- Attendance and participation in class according to institutional regulations.
- Submission of assignments, reports and/or presentations in a timely manner, as required throughout the course.
- Completion of a midterm exam / presentation.
- Completion of a final research project and presentation / exam.

Grading System

1. Satisfactory completion of all class assignments and homework tasks: 25%
2. Class effort and active participation: 20%
4. Midterm assignment/report/presentation: 25%
4. Final report/presentation: 30%

## ■ オフィスアワー・研究室等

edwards@mail.saitama-u.ac.jp

Please feel free to contact your lecturer by email if you wish to make an appointment or you have any questions. Make sure that you identify yourself clearly in the subject/title of your email. E.g.: "Satoko Saitama, JRCN, 1 時限"

## ■ 受講上の注意事項

\*この授業は、指定されたクラスで履修します。

# 英語 L S

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBL5101

○ David Broekema

## ■ 授業の目的

The purpose of this course is to review and reinforce students' existing knowledge and skill in English communication and to improve this knowledge and skill by practicing listening, speaking, reading, and writing in English with the aid of a multi-topic textbook and various other resources including online vocabulary tools and online videos. The skills focused on in the class will be listening and speaking, but there will also be reading, writing and grammar practice. This class emphasizes improvements in learner confidence and willingness to communicate through the creation of a supportive classroom environment based on active and collaborative learning.

## ■ 到達目標

- Students will build confidence in using English in social interactions.
- Students will learn coping skills to overcome communication breakdowns.
- Students will master at least 100 new words/phrases.
- Students will improve fluency (rhythm, intonation, pronunciation, etc.) by practicing model conversations, performing dramatic readings of dialogues, and reciting along with recordings.
- Students will use various IT tools to help you learn English on your own.
- Students will complete and present two PowerPoint presentations in class on topics introduced by the textbook or topics of their own interest.
- Students will support one another's English learning by working collaboratively in pairs or small groups.

## ■ 学習の進め方

Students will be expected to participate in all classroom activities and complete all assignments in English. Students should bring a laptop and smartphone with access to the campus wifi to class every day. Students should be able to use MS Word and MS Power Point. Every attempt will be made to reduce the use of paper in the classroom, therefore smartphones usage will be expected. Furthermore, active use of translation apps will not be prohibited as long as the use is constructed. Students will be expected to speak and write only in English and to speak in English as much as possible.

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>Lesson 1: Course Introduction</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Teacher and student introductions</b></li><li>• <b>Icebreaker activities</b></li><li>• <b>Students sign up for Quizlet</b></li><li>• <b>Textbook introduction and Unit 5 introduction activities</b></li><li>• <b>YouTube video listening and discussion activities</b></li></ul> 事前学修：[15 分] Students should read messages on the Glexa; come to class with laptop and smartphone 事後学修：[60 分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class.	講義	David Broekema
2	<b>Lesson 2: New Connection Unit 5 – A Helping Hand at Home</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Warm-up activities</b></li><li>• <b>Textbook exercises</b></li><li>• <b>Quizlet Live vocabulary game</b></li><li>• <b>If time, supplemental YouTube video activities</b></li></ul> 事前学修：[20 分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60 分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema

No	内容	形式	教員
3	<b>Lesson 3: New Connection Unit 6 – Going Places</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
4	<b>New Connection Unit 6 – Going Places [5/5 on demand class]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Online exercises (textbook, Quizlet, Youtube, etc., via Glexa LMS)</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
5	<b>Lesson 5: New Connection Unit 7 – Not Feeling So Good</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
6	<b>Lesson 6: New Connection Unit 7 – Not Feeling So Good</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> <li>• Midterm presentation assignment introduction</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
7	<b>Lesson 7: Midterm presentation preparation</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• In pairs (or group of 3) students will create a PPT presentation based on any topic from the first 3 units of the textbook.</li> <li>• Students will have workshop time in class to complete the PPT presentation with instructor support.</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
8	<b>Lesson 8: Midterm presentations</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Students will be given 15 minutes of rehearsal time to practice their presentations.</li> <li>• Student presentation performances.</li> <li>• Students will practice active listening during presentations by completing and submitting performance evaluations of student presentations.</li> <li>• If time, next textbook unit introduction activities.</li> </ul> 事前学修：[60分] Before the presentation day, students should meet their partner's in-person or online to complete presentation materials and practice the presentation. 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema

No	内容	形式	教員
9	<b>Lesson 9: New Connection (Unit TBA)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
10	<b>Lesson 10: New Connection (Unit TBA)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
11	<b>Lesson 11: New Connection (Unit TBA)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
12	<b>Lesson 12: New Connection Unit 9 – How Do You Feel?</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
13	<b>Lesson 13: New Connection Unit 9 – How Do You Feel?</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Warm-up activities</li> <li>• Textbook exercises</li> <li>• Quizlet Live vocabulary game</li> <li>• If time, supplemental YouTube video activities</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema
14	<b>Lesson 14: Final presentation preparation</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• In pairs (or group of 3) students will create a PPT presentation based on any topic from the first 3 units of the textbook, or any additional topic of their choice.</li> <li>• Students will have workshop time in class to complete the PPT presentation with instructor support.</li> </ul> 事前学修：[20分] Students should review vocabulary items and textbook materials from previous class 事後学修：[60分] Students should complete and submit homework by 23:59 on the day before the next class	講義	David Broekema

No	内容	形式	教員
15	<p><b>Lesson 15: Final presentations</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Students will be given 15 minutes of rehearsal time to practice their presentations.</b></li> <li>• <b>Student presentation performances.</b></li> <li>• <b>Students will practice active listening during presentations by completing and submitting performance evaluations of student presentations.</b></li> <li>• <b>Student will complete course surveys.</b></li> </ul> <p>事前学修：[60分] Before the presentation day, students should meet their partner's in-person or online to complete presentation materials and practice the presentation.</p> <p>事後学修：[60分] Students should complete and submit any outstanding work before the final deadline.</p>	講義	David Broekema

### ■ 教科書

Kadoyama, T., Dubinsky, A., Keane, D. E., & Corsini, M. (2017). New Connection (Book 1 ed.). Sebido Publishing Co., Ltd.

### ■ 参考書、参考資料等

In addition to textbook materials, students will utilize the Quizlet vocabulary practice app, will view supplemental videos via YouTube, and engage with original materials created by the instructor.

### ■ フィードバックの仕方

In this class every effort will be made to give feedback as quickly as possible through the Glexa LMS for written assignments (exercises, reports, or quizzes). Presentations will be given in person and will be assessed in real time. Students will be informed of their presentation scores on the LMS or during the next class period. In the event of remote or on-demand presentations due to virus restrictions, scores will be available on the LMS at the earliest opportunity.

### ■ 他の授業科目との関連

As established by College curriculum. Please consult your programme officer for details.

### ■ 成績評価の仕方

Students are expected to fulfill the following requirements:.

- Attendance and active participation in class.
- Submission of assignments, reports and/or presentations on time. Late assignments will not be accepted.
- Completion of midterm and final pair or small group presentations.

Grading System

1. Satisfactory completion of all class assignments and homework tasks: 40%
2. Class effort and active participation: 20%
4. Midterm presentation: 20%
4. Final presentation: 20%

### ■ オフィスアワー・研究室等

Students can contact the instructor by email at any time at: broekema.david@gmail.com

If desired, Zoom meetings may be arranged by appointment.

### ■ 受講上の注意事項

\*この授業は、指定されたクラスで履修します。

# 中国語Ⅰ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目番号：SBLS102

○王 牧

## ■ 授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、その発音と基礎的な文法を習得し、簡単な挨拶や日常会話ができるようになることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ①中国語の発音を習得する。
- ②中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
- ③名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
- ④日本と中国の文化の違いを認識する。

## ■ 学習の進め方

この授業は、以下のように進める。

1. 教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、定期的の小テストを行う(具体的な実施方法などについて授業時の指示に従う)。
3. 授業後は学んだ発音や単語・表現を正確に発音できるようくりかえし練習する。

この授業は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。教員の説明を聞くだけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し、習得することを求める。また、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、現代中国社会についての内容も少し触れ、言葉や表現の理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>ガイダンス:授業概要・中国や中国語について簡単な紹介</b> 事前学修：[20 分] 身の回りにある中国語や中国文化を探し、メモする 事後学修：[20 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、教科書 7-9 頁を読む	講義・演習	王牧
2	<b>発音(1):中国語についての概要と声調</b> 事前学修：[20 分] 事前・事後学習に必要な道具(ノートや教科書など)を準備し、教科書 7-12 頁を読む 事後学修：[50 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、12 頁の「声調」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	王牧
3	<b>発音(2):単母音</b> 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、12 頁の「声調」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、11 頁の「単母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	王牧
4	<b>発音(3):複母音</b> 事前学修：[30 分] 後学習の定着度を数回発音して確認し、11 頁の「単母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、19 頁「複母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	王牧
5	<b>発音(4):子音</b> 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、19 頁の「複母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	王牧
6	<b>発音(5):複母音のまとめ・n、ng を含む母音(全体の概要)・数字 1~10 の言い方</b> 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、ここまで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、数字 1~10 を暗記する	講義・演習	王牧



No	内容	形式	教員
7	<b>発音(6): n、ng を含む母音(前半)</b> <b>第1課 新出語句・「名前の言い方」</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、25頁の「n、ng を含む母音」を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14頁「新出語句」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	王牧
8	<b>発音(7): n、ng を含む母音(後半)・変調</b> <b>第1課 会話・文法ポイント解説(挨拶①など)</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、14頁の単語を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14頁「会話」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	王牧
9	<b>発音のまとめ(1): ピンイン書き換えのルール</b> <b>第1課 補足語句・ドリル</b> <b>〔自己紹介(1)〕 名前(苗字)を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、14頁の会話を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、名前(苗字)の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
10	<b>発音のまとめ(2): 親族名称と軽声</b> <b>第2課 新出語句・挨拶②・「数字の言い方」</b> <b>〔自己紹介(2)〕 誕生日を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、14-18頁の第1課の内容を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、誕生日の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
11	<b>第2課 会話・補足語句</b> <b>〔自己紹介(3)〕 大学名・専攻・学年を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、20頁の単語を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、大学名・専攻・学年の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
12	<b>第2課 ペアワーク・ドリル</b> <b>〔自己紹介(4)〕 住まい(実家)を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、20頁の会話を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、住まい(実家)の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
13	<b>第3課 新出語句・“的”「～の」解説</b> <b>〔自己紹介(5)〕 家族を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、20-22頁の第2課の内容を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、家族の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
14	<b>第3課 会話・指示代名詞</b> <b>〔自己紹介(6)〕 好きな食べ物を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、26頁の単語を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、好きな食べ物や趣味の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
15	<b>第3課 補足語句・ドリル</b> <b>〔自己紹介(7)〕 自己紹介総合練習</b> 事前学修: [60分] 前期に学んだ表現を用いて自分自身の「自己紹介」を書く 事後学修: [120分] 前期に学んだ発音と表現をよく復習し、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧

## ■ 教科書

李偉・管虹著(2018).『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』.初版. 白帝社

## ■ 参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ:「ことば」からみる思考と感覚』.初版. 集英社

### ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

### ■ 他の授業科目との関連

この科目は後期の中国語Ⅱに関連しています。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、小テスト 30 %、定期試験 50 %

### ■ オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける。

# 中国語Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」成長 「3」コミュニティ貢献 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBL512

○王 牧

## ■ 授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、中国語Ⅰで学習した発音と基礎的な文法事項をさらに発展させ、日常会話ができるようになることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ①発音表記をみて自分で正しく発音できる。
- ②中国語で挨拶や会話ができるようになる。
- ③日本と中国の文化の違いについて自分で考えられるようになる。

## ■ 学習の進め方

この授業は、「講義」と「演習」を併用するかたちで実施し、以下のように進める。

1. 教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現およびその関連表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う(具体的な実施方法などについて授業時の指示に従う)。
3. 授業後は授業で学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。

この授業は「講義」だけでなく、日常会話で用いる表現を実際に発音し、習得することを求める。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、および医療に関する中国語についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>ガイダンス(中国語Ⅰの総復習)</b> 事前学修：[30分] 中国語Ⅰ 授業資料を整理し、復習しておく 事後学修：[60分] 中国語Ⅰ で学習した内容をすべて復習する	講義・演習	王牧
2	<b>第4課 新出語句・会話</b> <b>補足会話資料1：天気</b> 事前学修：[30分] 事前・事後学習に必要な道具(ノートや教科書など)を準備し、本学期に学ぶ内容(教科書第4課～第7課の内容)について目を通す 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、天気について中国語で言えるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
3	<b>第4課 文法ポイント・補足語句</b> <b>補足会話資料2：趣味①</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、33頁の単語を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、自分の趣味が紹介できるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
4	<b>第4課 ドリル</b> <b>補足会話資料3：趣味②</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、33頁の会話を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、自分の趣味が紹介できるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
5	<b>第5課 新出語句・会話</b> <b>補足会話資料4：通学</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第4課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、通学手段や所要時間などの紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
6	<b>第5課 文法ポイント・補足語句</b> <b>補足会話資料5：時間と日程</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、38頁の単語を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、日程などの紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧

No	内容	形式	教員
7	<b>第5課 ドリル</b> <b>補足会話資料 6：買い物</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、38頁の会話を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、買い物の時に使う表現を覚え、くりかえし練習する	講義・演習	王牧
8	<b>第6課 新出語句・会話</b> <b>補足会話資料 7：注文</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第5課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、料理などの注文ができるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
9	<b>第6課 文法ポイント・補足語句</b> <b>補足会話資料 8：スポーツ</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、44頁の単語を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、自分の好きなスポーツが紹介できるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
10	<b>第6課 ドリル</b> <b>補足会話資料 9：予定</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、44頁の会話を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、予定について紹介できるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
11	<b>第7課 新出語句・会話</b> <b>補足会話資料 10：約束</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第6課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、待ち合わせの時間や場所などが言えるようくりかえし練習する	講義・演習	王牧
12	<b>第7課 文法ポイント・補足語句</b> <b>補足会話資料 11：スマホ・SNS用語</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、50頁の単語を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、日常でよく使うスマホ・SNS用語を覚えよう	講義・演習	王牧
13	<b>第7課 ドリル</b> <b>補足会話資料 12：お祝い</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、49頁の会話を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、日常でよく使うお祝いの言葉を覚えよう	講義・演習	王牧
14	<b>後期総復習 1・総合練習 1</b> 事前学修：[60分] 教科書第4課—第7課に学んだ単語や表現ポイントをノートにまとめた上でよく復習する 事後学修：[60分] 総合練習 1 を回答する	オンデマンド	王牧
15	<b>後期総復習 2・総合練習 2</b> 事前学修：[60分] 補足会話資料 1-12の内容をよく復習し、学んできた会話文の発音と筆記の練習をする 事後学修：[60分] 総合練習 2 を回答する	オンデマンド	王牧

## ■ 教科書

李偉・管虹著(2018).『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』.初版.白帝社

## ■ 参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』.初版.集英社

## ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

## ■ 他の授業科目との関連

中国語Ⅱは中国語Ⅰの理解に基づき、より発展的な内容を扱います。

**■ 成績評価の仕方**

授業への取り組み 20 %、小テスト 30 %、定期試験 50 %

**■ オフィスアワー・研究室等**

随時、電子メールで質問を受け付ける。

# 韓国語Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」関係 「2」探求 「3」実践 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBLS103

○高昌弘

## ■ 授業の目的

朝鮮半島で使われている言語の名称をめぐってさまざまな学説や主義、主張などがあり、韓国語・朝鮮語・コリア語などと呼ばれている。基本的にすべて同一の言語を指すものであるが、まずこれらの背景について学ぶ。韓国語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を理解し、それに基づいた表現を身に付けるようにする。日本語との類似点、相違点に注意しながら学ぶ。韓国語を表す文字であるハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになることを目指す。

## ■ 到達目標

- ①ハングル文字や発音を徹底してマスターする。
- ②ハングル能力検定試験 5 級レベルの語彙や文法表現を学習する。
- ③毎年、6 月と 11 月に行われているハングル能力検定試験 5 級にチャレンジする。

## ■ 学習の進め方

(講義・演習)

授業の始めに前回学習した内容(語彙や文法など)の小テストを毎回行う。その代わりに定期試験は行わない。ハングルの学習した後は、例文など、ただ先生の後について読むのではなく、学生が自ら読んだり、学習した文法を使って書いた作文を発表するなど、学生が積極的に参加・活動できるように進めていく。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「ハングルの基本母音と子音①」 ハングルの構造を理解し、基本母音と子音①を暗記する。 事前学修：[10分] ハングルの仕組みについて調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習したハングルの「基本母音」と「子音①」をしっかりと覚える。	「講義」「演習」	高
2	「子音②」と「子音③」 子音②(平音)と子音③(激音)を暗記する。 事前学修：[10分] 韓国語の「平音」と「激音」について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「子音②」と「子音③」をしっかりと覚える。	「講義」「演習」	高
3	「子音④」と「合成母音」 子音④(濃音)と合成母音(二重母音)を暗記する。 事前学修：[10分] 韓国語の「濃音」と「合成母音」について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「子音④」と「合成母音」をしっかりと覚える。	「講義」「演習」	高
4	「パッチム」と「連音化」 パッチム(終声音)と二重パッチムを暗記し、さらに連音化という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「パッチム(終声音)」と連音化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「パッチム」をしっかりと覚え、発音の変化「連音化」を理解する。	「講義」「演習」	高
5	「肯定平叙文・疑問文」と「有声音化」と「5級単語(1)」 「～です・～ですか」という文法表現と「有声音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「有声音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
6	「否定平叙文・疑問文」と「hの弱音化」と「5級単語(2)」 「～ではありません・ありませんか」という文法表現と「hの弱音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「hの弱音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
7	「希望表現」と「濃音化」と「5級単語(3)」 「～したい」という文法表現と「濃音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「濃音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高

No	内容	形式	教員
8	「仮定表現」と「流音化」と「5級単語(4)」 「～すれば・～したら」という文法表現と「流音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「流音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
9	「語基」と「口蓋音化」と「5級単語(5)」 韓国語の動詞や形容詞などの活用形について学習し、「口蓋音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「口蓋音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
10	「丁寧語」と「鼻音化」と「5級単語(6)」 「～です・ます」という文法表現と「鼻音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「鼻音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
11	「進行表現」と「激音化」と「5級単語(7)」 「～している」という文法表現と「激音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「激音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
12	「勧誘表現」と「母音「ウイ」の発音」と「5級単語(8)」 「～しましょうか」という文法表現を学習し、「母音「ウイ」の発音」を復習する。 事前学修：[10分] 母音「ウイ」の発音について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
13	「過去形」と「二重パッチム」と「5級単語(9)」 「～した・～しました」という文法表現を学習し、「二重パッチム」の発音を復習する。 事前学修：[10分] 韓国語の二重パッチム(二文字パッチム)について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
14	「映画鑑賞」 韓国の映画を観ながら音読テストを行う。 事前学修：[60分] 5級単語の例文を使い、音読テストを行うのでどの例文でも読めるように復習しておくこと。 事後学修：なし	「その他」	高
15	「映画鑑賞」 韓国の映画を観ながら音読テストを行う。 事前学修：[60分] 5級単語の例文を使い、音読テストを行うのでどの例文でも読めるように復習しておくこと。 事後学修：なし	「その他」	高

## ■ 教科書

毎回、プリントを配る予定

## ■ 参考書、参考資料等

ハングル能力検定協会(2014)『「ハングル」検定 公式テキスト ペウギ 5級』

ハングル能力検定協会(2016)『「ハングル」検定 公式ガイド 新装版 合格トウミ 初級編4・5級』

## ■ フィードバックの仕方

小テストのフィードバックは、試験終了直後に、口頭で解説または解説資料の配布を通じて行う。

## ■ 他の授業科目との関連

なし

## ■ 成績評価の仕方

授業への取組み 45%、小テスト 45%、音読テスト 10%

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

# 韓国語Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」関係 「2」探求 「3」実践 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBLS153

○高昌弘

## ■ 授業の目的

韓国語Ⅰで学んだ文法及び表現を確認しながら、さらに上のレベルの文法や表現を練習し、バランスのとれた「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を身に付ける。その中でも特に「書く」「話す」力に重点をおく。韓国語は日本語と似ているところが多い、似ているからこそ難しいところがある。そういう点にも注意を払いながら、より自然な韓国語の習得を目指す。韓国語を学ぶことをとおして、朝鮮半島の現在について知見を広める。

## ■ 到達目標

- ①ハングル能力検定試験5級レベルの文法や語彙表現を学習する。
- ②ハングル能力検定試験5級レベルの実力を身につけ、簡単な会話ができるようになる。
- ③毎年、6月と11月に行われているハングル能力検定試験5級にチャレンジする。

## ■ 学習の進め方

(講義・演習)

授業の始めに前回学習した内容(語彙や文法など)の小テストを毎回行う。その代わりに定期試験は行わない。前期と同じように例文など、ただ先生の後について読むのではなく、学生が自ら読んだり、学習した文法を使って書いた作文を発表するなど、学生が積極的に参加・活動できるように進めていく。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「目的を表す表現」と「助詞」と「5級単語(10)」 「～するために」という文法表現と韓国語の助詞を学習する。 事前学修：[10分]「～するために」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、助詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
2	「意思を表す表現」と「漢字語数詞」と「5級単語(11)」 「～するつもりだ」という文法表現と日本語の「一・二・三」に当たる漢字語数詞を学習する。 事前学修：[10分]「～するつもりです」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、漢字語数詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
3	「理由を表す表現」と「固有語数詞」と「5級単語(12)」 「～して・ので」という文法表現と日本語の「一つ・二つ・三つ」に当たる固有語数詞を学習する。 事前学修：[10分]「～して・ので」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、固有語数詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
4	「進行を表す表現」と「位置」と「5級単語(13)」 「～しているところだ」という文法表現と位置を表す言葉を学習する。 事前学修：[10分]「～しているところです」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、位置を表す言葉と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
5	「経験を表す表現」と「挨拶・相づち①」と「5級単語(14)」 「～したことがある」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～したことがある」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
6	「依頼表現」と「挨拶・相づち②」と「5級単語(15)」 「～してください」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～してください」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
7	「禁止表現」と「挨拶・相づち③」と「5級単語(16)」 「～しないでください」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～しないでください」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高



No	内容	形式	教員
8	「原因や理由を表す表現」と「挨拶・相づち④」と「5級単語(17)」 「～するから」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～するから」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
9	「義務や意志を表す表現」と「挨拶・相づち⑤」と「5級単語(18)」 「～しなければならない」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～しなければなりません」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
10	「意志表現」と「挨拶・相づち⑥」と「5級単語(19)」 「～する!(意志)」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～します!!! (意志)」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
11	「可能表現」と「挨拶・相づち⑦」と「5級単語(20)」 「～できる(可能)」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～できます」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
12	「残念な気持ちや完了の意味を表す表現」と「挨拶・相づち⑧」と「5級単語(21)」 「～してしまう」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～してしまいました」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
13	「勧誘及び確認の表現」と「用言の変則①」と「5級単語(22)」 「～しましょう」という文法表現と子音「L(子音)」脱落用言を学習する。 事前学修：[10分]「～しましょう」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、変則①を理解し、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
14	「映画鑑賞」 韓国の映画を観ながら音読テストを行う。 事前学修：[60分]5級単語の例文を使い、音読テストを行うのでどの例文でも読めるように復習しておくこと。 事後学修：なし	「その他」	高
15	「映画鑑賞」 韓国の映画を観ながら音読テストを行う。 事前学修：[60分]5級単語の例文を使い、音読テストを行うのでどの例文でも読めるように復習しておくこと。 事後学修：なし	「その他」	高

## ■教科書

毎回、プリントを配る予定

## ■参考書、参考資料等

ハングル能力検定協会(2014)『「ハングル」検定 公式テキストペウギ 5級』

ハングル能力検定協会(2016)『「ハングル」検定 公式ガイド 新装版 合格トウミ 初級編4・5級』

ハングル能力検定協会(2021)『ハン検 過去問題集 5級』

## ■フィードバックの仕方

小テストのフィードバックは、試験終了直後に、口頭で解説または解説資料の配布を通じて行う。

## ■他の授業科目との関連

韓国語Ⅱは韓国語Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

## ■成績評価の仕方

授業への取り組み 45%、小テスト 45%、音読テスト 10%

## ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

## ■受講上の注意事項

韓国語Ⅰを履修していることが望ましいが、履修していなくてもハングルが読めて初級レベルの単語や文法表現を知っていれば受講で

さる。

# 基礎ゼミ I

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBFS100

○鷹田佳典、遠藤公久、白井美穂、角田敦彦、渋谷真樹、井上明宏、有賀早苗、越後敬子

## ■ 授業の目的

大学で学問を学ぶために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につける。

## ■ 到達目標

1. 人文・社会・自然科学の講義や他者の意見の内容を理解できる。
2. 学術的な文章を読んでその内容を理解できる。
3. 自分の意見をその根拠も含めて相手にわかりやすく説明できる。
4. 調べたいテーマに関する文献を検索・収集できる。
5. テーマに即した論理的な文章を書くことができる。

## ■ 学習の進め方

上記の到達目標が達成できるように、少人数(10 数名)のゼミにおいて個人やグループで課題に取り組む。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己紹介を兼ねて「私はどのような大学生になりたいか。なぜそう考えるか。」等のテーマで自分の意見を発表する。授業終了前に 4 回目の討論テーマを決める。 事前学修：[30 分] 自己紹介の内容を考えて A4 用紙 1 枚にまとめ、発表準備をする 事後学修：[30 分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
2	文献検索の練習・図書館の利用方法の学習 事前学修：[30 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[30 分] 授業内容の振り返り	演習	各担当教員
3	第 4 回の討論準備 事前学修：[30 分] 討論に必要な資料を検索・収集しておく。 事後学修：[30 分] 授業内容の振り返り	演習・GW	各担当教員
4	第 1 回で決めたテーマについて討論 事前学修：[30 分] 討論テーマについて、自身の考えをまとめノートに記す。 事後学修：[30 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員
5	指定図書を読み自分の意見を発表し討論する 事前学修：[30 分] 事前に提示されたして図書を読み発表資料を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員
6	Word の基本操作と APA の学習 事前学修：[30 分] 関連するテキストの部分を読み、疑問点をノートにメモしておく。 事後学修：[30 分] 練習問題をやってみる	演習	各担当教員
7	研究論文(量的研究)の読解と討論 事前学修：[60 分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	発表・討論	各担当教員
8	研究論文(質的研究)の読解と討論 事前学修：[60 分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる。 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	発表・討論	各担当教員
9	APA 方式の復習 事前学修：[30 分] テキストの該当部分を読み、疑問点をまとめておく。 事後学修：[30 分] 授業内容の振り返り	演習	各担当教員
10	レポート作成のための個別指導① 事前学修：[30 分] レポートのテーマを考え、ノートに記す。 事後学修：[30 分] 個別指導の反映	演習	各担当教員
11	レポート作成のための個別指導② 事前学修：[30 分] レポートのテーマに関して必要な資料や情報を整理しノートに写す。 事後学修：[30 分] 個別指導の反映	演習	各担当教員

No	内容	形式	教員
12	レポート作成のための個別指導③ 事前学修：[30分] レポートテーマについて、文献検索を進める。 事後学修：[30分] 個別指導の反映	演習	各担当教員
13	レポート中間発表会(前半) 事前学修：[60分] レポート中間発表の準備(レジюмеやスライドの作成)をする。 事後学修：[15分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
14	レポート中間発表会(後半) 事前学修：[60分] レポート中間発表の準備(レジюмеやスライドの作成)をする。 事後学修：[15分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
15	レポート作成のための個別指導④ 事前学修：[30分] レポートテーマについて執筆を進める。 事後学修：[30分] 個別指導の反映	演習	各担当教員

### ■ 教科書

なし(プリントを配布します)。

### ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介します。

### ■ フィードバックの仕方

レポートは担当教員のコメントを付して、後期の基礎ゼミⅡの授業時に返却します。

### ■ 他の授業科目との関連

この科目の発展的応用的科目として1年次後期に「基礎ゼミⅡ」(必修科目)があります。

### ■ 成績評価の仕方

授業スケジュールの1～10の課題を達成した合計が50点、レポート評価が50点(レポート中間発表会でのプレゼンテーション評価10点を含む)。

### ■ オフィスアワー・研究室等

時間：専任教員は授業開講日の12:30～13:00。非常勤講師は授業終了後。

### ■ 受講上の注意事項

\* 指定された担当教員のゼミを履修する。

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○遠藤公久

## ■ 授業の目的

対人関係や対人コミュニケーションを中心テーマに据えて、普段私たちが日常生活で不思議に思っていることを取り上げて検証することで、科学的に探求する態度を身につける。大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 対人関係や対人コミュニケーションについて探求する態度をもつことができる。
2. 調査法(実験法)などの研究方法について知ることができる。
3. グループワークを通して、対人関係を深める。
4. 効果的なプレゼンテーションについて学習する。

## ■ 学習の進め方

基本的にはグループ(2名または3名)活動である。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[30分] シラバスに目を通しておく 事後学修：[30分] 来週までに興味のあるテーマを考えてくる。	講義	遠藤
2	<b>考えてきたテーマ発表(キーワード)する。</b> 事前学修：[30分] 自分の取り上げたいテーマを考えてくる 事後学修：[30分] 来週までにさらにテーマを絞ってくる	発表・討論	遠藤
3	<b>いくつかにまとめられたテーマから、自分の検討したいテーマを決定し、グループになる。</b> 事前学修：[30分] 来週までにさらにテーマを絞ってくる 事後学修：[30分] 決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく	発表、討論	遠藤
4	<b>グループワーク1：各グループでテーマについて討論し、検証したい現象について考える。</b> 事前学修：[30分] 決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく 事後学修：[30分] さらにテーマについて具体的に考えておく	討論	遠藤
5	<b>グループワーク2：検証したい現象などについて、さらにグループで考え、また調べてみる。</b> 事前学修：[30分] さらにテーマについて具体的に考えておく 事後学修：[30分] 調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める	討論	遠藤
6	<b>グループワーク3：調べたことをもとに、検証したいことについてさらに深めてみる。</b> 事前学修：[30分] 調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める 事後学修：[30分] 仮説や検証方法などを考え、調べておく	討論	遠藤
7	<b>グループワーク4：調べたいテーマについて、グループとして具体的な仮説と検証方法について考えてみる。</b> 事前学修：[30分] 仮説や検証方法などを考え、調べておく 事後学修：[30分] 特に無い	発表、討論	遠藤
8	<b>グループワーク5：検証方法について具体化していく。(例えば、質問紙作成など)</b> 事前学修：[30分] 特に無いが、検証方法について考えておく 事後学修：[30分] 検証方法を具体化する	討論	遠藤
9	<b>グループワーク6：検証方法についてさらに具体化する。</b> 事前学修：[30分] 検証方法を具体化する 事後学修：[30分] 検証したいこととその方法との対応があっているか考える	討論	遠藤
10	<b>グループワーク7：各グループで出された検証方法について、グループで発表して修正箇所などをみつける。</b> 事前学修：[30分] 検証したいこととその方法との対応があっているか考える 事後学修：[30分] 調査(実験)の準備を進めておく	討論	遠藤

No	内容	形式	教員
11	グループワーク8：修正箇所を取り入れて、完成版を作成する。 また、調査(実験)などをスタートする。 事前学修：[30分] 調査(実験)の準備を進めておく 事後学修：[30分] 次回までに調査(実験)を終了しておく	討論	遠藤
12	グループワーク9：調査(実験)結果などを持ち寄り、データ入力(エクセル)する。 事前学修：[60分] 次回までに調査(実験)を終了しておく 事後学修：[60分] データ入力を終了しておく(エクセル入力)	討論	遠藤
13	グループワーク10：分析結果(単純集計など)をもとに、発表の準備をする。 事前学修：[30分] データ入力を終了しておく(エクセル入力) 事後学修：[30分] 分析結果について解釈を進める	討論	遠藤
14	グループワーク11：各グループで発表の準備をする。 事前学修：[30分] 分析結果について解釈を進める 事後学修：[30分] パワーポイントについて慣れる	討論	遠藤
15	発表：各グループで研究したことについて発表し(パワーポイント)、質疑応答を体験する。 事前学修：[60分] パワーポイント資料を完成しておく 事後学修：[15分] 授業全体についてコメントを作成する	発表・討論	遠藤

### ■ 教科書

使用しない。各人、各グループで調べた資料

### ■ 参考書、参考資料等

なし

### ■ フィードバックの仕方

発表のときにコメントをする。

### ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I

### ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%) 2. グループ発表の内容(50%)。

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~13:00、遠藤公久(404 研究室)。

### ■ 受講上の注意事項

調査(実験)期間(数日間)が必要になることがあります。

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」連携 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○鷹田佳典

## ■ 授業の目的

本講義の目的は、大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶことです。大学では多くの文献・資料を読み、そこから新たな知識や情報を得たり、それらを踏まえて自分の考えを述べたりすることが重要になります。また、複数の人と協力して作業をしたり、討論をして相互理解を深めたりする場面も多くあります。本講義では「ジェンダー」をテーマに、資料収集、文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッションに必要な基礎力の習得を目指します。

## ■ 到達目標

1. 図書館やオンライン・データベースを活用して文献検索を行うことができる。
2. 学術論文・文献を批判的に読むことができる。
3. パソコンで資料を作成し、それをもとにプレゼンテーションを行うことができる。
4. 他者と協同しながら、グループワークを効果的に進めることができる。

## ■ 学習の進め方

講義・GW・発表・討論

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション：講義の進め方についての説明、教員・受講生自己紹介</b> 事前学修：[30分] ジェンダーに関連する気になるニュースを一つ調べておく。 事後学修：[30分] 課題実施のためのスケジュールをたてる。	講義	鷹田
2	<b>文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーションの基礎</b> 事前学修：[30分] TED を視聴し、どんなところがよかったのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	<b>文献抄読</b> 事前学修：[60分] 課題文献の該当箇所を目を通し、内容・疑問点をまとめておく。 事後学修：[30分] 文献抄読の内容をノートにまとめる。	発表	鷹田
4	<b>文献抄読</b> 事前学修：[60分] 課題文献の該当箇所を目を通し、内容・疑問点をまとめておく。 事後学修：[30分] 文献抄読の内容をノートにまとめる。	発表	鷹田
5	<b>文献抄読</b> 事前学修：[60分] 課題文献の該当箇所を目を通し、内容・疑問点をまとめておく。 事後学修：[30分] 文献抄読の内容をノートにまとめる。	発表	鷹田
6	<b>文献抄読</b> 事前学修：[60分] 課題文献の該当箇所を目を通し、内容・疑問点をまとめておく。 事後学修：[30分] 文献抄読の内容をノートにまとめる。	発表	鷹田
7	<b>文献抄読</b> 事前学修：[60分] 課題文献の該当箇所を目を通し、内容・疑問点をまとめておく。 事後学修：[30分] 文献抄読の内容をノートにまとめる。	発表	鷹田
8	<b>ディスカッションテーマの選定</b> 事前学修：[30分] 文献抄読を踏まえ、全員で議論したいテーマを3つ、ノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 自分が担当になったテーマについて、ポイントになる部分をノートにまとめる。	GW	鷹田
9	<b>資料収集・プレゼンテーション準備</b> 事前学修：[30分] 図書館のデータベースで必要な資料をピックアップしておく。 事後学修：[30分] プレゼンテーションに用いる資料を整理する。	GW	鷹田
10	<b>資料収集・プレゼンテーション準備</b> 事前学修：[30分] 図書館のデータベースで必要な資料をピックアップしておく。 事後学修：[30分] プレゼンテーションに用いる資料を整理する。	GW	鷹田

No	内容	形式	教員
11	<b>グループ発表・全体討論</b> 事前学修：[30分] 発表資料に目を通し、疑問点や意見をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 全体討論の内容をノートにまとめる。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
12	<b>グループ発表・全体討論</b> 事前学修：[30分] 発表資料に目を通し、疑問点や意見をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 全体討論の内容をノートにまとめる。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
13	<b>グループ発表・全体討論</b> 事前学修：[30分] 発表資料に目を通し、疑問点や意見をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 全体討論の内容をノートにまとめる。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
14	<b>グループ発表・全体討論</b> 事前学修：[30分] 発表資料に目を通し、疑問点や意見をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 全体討論の内容をノートにまとめる。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] 平成について議論したいテーマをひとつあげ、論点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] ジェンダーについて自分の考えをノートにまとめる。	ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田

### ■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

### ■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。文献抄読の図書については、いくつか候補を挙げ、受講者と相談のうえ決定します。

### ■ フィードバックの仕方

発表内容について、授業内でフィードバックします。

### ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I で学習した内容を確認しておくこと。

### ■ 成績評価の仕方

グループワーク(30%)、プレゼンテーション(30%)、討論への参加(40%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受け付けます。

### ■ 受講上の注意事項

パソコン(ワード、パワーポイント)の基礎的スキルが必要になります。



# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBFS150

○白井美穂

## ■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。基礎ゼミⅠで学んだことを基にして、少人数グループにおける発表、討論などを実践し、興味を持ったテーマを探求し、さらに自己発信ができることを目的とする。当ゼミの柱となるテーマとして、スポーツ(運動)と健康、ライフスタイルなどについて、学術文献を基に考えを発表し、討論していく。

## ■ 到達目標

自らの理解したことや意見をまとめて、論理的で平易かつ明瞭に聞き手に伝える実践力を養う。

## ■ 学習の進め方

各テーマについて、自身で興味をもてた内容を探求し、自身の意見を発表し、討論を促す。

受講者の興味関心、理解度により、授業内容変更の可能性がある。変更の場合は事前に教員から連絡を行う。※コロナ感染状況により、遠隔授業になる可能性がある。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション、自己紹介、グループ分け、「健康づくり」に関して興味のあるテーマの選定</b> 事前学修：[30分] 自分の興味のあることをノートにまとめる。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる。自身が実践しているまたはこれから実践したい「健康づくり」についてノートに記入する。	講義 発表	白井
2	<b>「健康づくり」についての発表・討論</b> 事前学修：[30分] 自身の考える健康づくりについて発表資料を作成する。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる。	発表、ディスカッション(討論)	白井
3	<b>睡眠と健康</b> 事前学修：[30分] 睡眠と健康について調べ、ノートに記入する。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる。	講義	白井
4	<b>睡眠の質を高める運動・食事・生活習慣</b> 事前学修：[30分] 睡眠の質を高める方法について調べ、ノートに記入する。 事後学修：[30分] 自分にとって理想的な睡眠、または健康と睡眠について調べ、ノートに記入する。	講義	白井
5	<b>睡眠についてグループ討論・発表</b> 事前学修：[30分] 睡眠について自分の意見をまとめ、ノートに記入する。 事後学修：[30分] 授業を受けて実践できることを行う。	討論・発表	白井
6	<b>理想的な身体づくり①健康と運動</b> 事前学修：[30分] 理想的な身体づくりのために実践したい運動について考え、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 理想的な身体づくりを実践する。	講義・演習	白井
7	<b>理想的な身体づくり②疾病と運動</b> 事前学修：[30分] 疾病と運動について調べる、ノートに記入する。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる。	講義	白井
8	<b>健康・疾病と運動についてグループ討論・発表</b> 事前学修：[30分] グループで意見をまとめる。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる。	討論・発表	白井
9	<b>理想的な身体づくり③健康と栄養</b> 事前学修：[30分] 健康と栄養について調べ、ノートに記入する。 事後学修：[30分] 理想的な身体づくりを実践する。	講義	白井
10	<b>理想的な身体づくり④疾病と栄養</b> 事前学修：[30分] 疾病と栄養について調べ、ノートに記入する。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる。	講義	白井

No	内容	形式	教員
11	理想的な身体づくりについてグループごとにテーマを決める。 事前学修：[30分] 理想的な身体づくりについて自分の意見をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 決定したテーマについて調べを始める。	討論	白井
12	テーマについて：文献検索 事前学修：[30分] テーマについて調べる。 事後学修：[30分] 図書館などで文献を検索する。	フィールドワーク	白井
13	テーマについて：資料収集 事前学修：[30分] テーマについて調べる。 事後学修：[30分] テーマに関する資料収集を行う。	フィールドワーク	白井
14	テーマについて：文献検索・資料収集・発表準備 事前学修：[30分] テーマについて調べる・資料収集を行う。 事後学修：[30分] 発表の準備を行う。	フィールドワーク	白井
15	発表 事前学修：[30分] 今までの授業を振り返り、感想をノートに記入する。 事後学修：[30分] ノートに授業の振り返りをまとめる	発表・ディスカッション	白井

### ■ 教科書

必要に応じて担当教員もしくは学生が資料を配付する。

### ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介するが、原則として学生が自ら選ぶ。

### ■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは返却時にコメントをつけて行う。

### ■ 他の授業科目との関連

当科目は、1年次前期の「基礎ゼミⅠ」(必修科目)の応用発展的科目である。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(30%)、プレゼンテーション(40%)、グループワークおよびディスカッションへの貢献(30%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○角田敦彦

## ■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。  
特に本ゼミでは、国際協力分野(紛争・災害など)に関する事柄に関して学生各自が興味を持った論文やニュース記事を検索し要約する。また、これを他者に分かりやすく発表する技術、また、他者の発表を聞き質問や自分の意見を述べるスキルを身につけることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・自分が関心を持つ分野の論文やニュース記事を探索的に読み、関心を持った事柄についてわかりやすく論理的に他者に伝えることができる。
- ・他者の発表を聞き、それに対する質問や意見をまとめ、討論できる。

## ■ 学習の進め方

- ・学生が自分の関心を持った論文、ニュース記事を検索し、要約し発表する。
- ・発表を聞き、ディスカッションや質疑を行う。
- ・教員がコメントを行う。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>コースガイダンス</b> <b>効果的なプレゼンテーション</b> 事前学修：[30分] 基礎ゼミⅠの内容を復習し、文献検索の方法などについてまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する。	講義	角田
2	<b>テーマの決定と関係するニュース・記事等の検索</b> 事前学修：[30分] 関心あるテーマを複数検討し、取組みたい理由などをまとめておく。 事後学修：[30分] 決定したテーマの論文を入手し、発表の準備をする。	演習	角田
3	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
4	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
5	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
6	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
7	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
8	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田

No	内容	形式	教員
9	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
10	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
11	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
12	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
13	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
14	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] これまでの討論を振り返り整理する。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)	角田

### ■ 教科書

ゼミの中で適宜指示する。

### ■ 参考書、参考資料等

なし

### ■ フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーション、提出物のフィードバックは授業時に行う。

### ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、発展的な内容を扱う。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、プレゼンテーションの準備、内容、態度 50%、質疑、討論への参加度 30%

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室での質問を受け付けます。また、随時、電子メールで質問を受け付けます。

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○渋谷真樹

## ■ 授業の目的

この授業は、「基礎ゼミⅠ」での学習成果を応用し、文献検索や読解、議論、発表など、探究する力をさらに伸ばすことを目的としています。

国際連合(国連)は、2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標」(SDGs)として、「すべての人に健康と福祉を」や「質の高い教育をみんなに」といった目標を17個、掲げています。

本ゼミでは、このSDGsに基づいて、各自や小グループでテーマを設定して文献を調査し、クラスで発表や議論をしていきます。

## ■ 到達目標

- 1 自らの問題意識に沿って文献を検索し、批判的に読解することができる。
- 2 読んだことや調べたこと、考えたことを、根拠に基づいて、論理的に発表することができる。

## ■ 学習の進め方

AL

一部、講義がありますが、主要な部分は、学生主体のグループワークや発表や議論です。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[60分]「基礎ゼミⅡ」で学びたいこと、身に付けたい力を考える。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	講義	渋谷
2	<b>SDGsとは：国連の「持続可能な開発目標」</b> 事前学修：[60分] SDGsの概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
3	<b>テーマの設定とグループ作り</b> 事前学修：[60分] SDGsをめぐる関心のあるテーマを書き出す。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	ディスカッション(討論)・GW	渋谷
4	<b>研究テーマの焦点化と文献の検索</b> 事前学修：[60分] 関心のあるテーマについて、明らかにしたいことを記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	ディスカッション(討論)・GW	渋谷
5	<b>先行研究の検討①</b> 事前学修：[90分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
6	<b>先行研究の検討②</b> 事前学修：[90分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
7	<b>先行研究の検討③</b> 事前学修：[90分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷

No	内容	形式	教員
8	<b>先行研究の批判的検討①</b> 事前学修：[90分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、批判的に検討した上で、まとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
9	<b>先行研究の批判的検討②</b> 事前学修：[90分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、批判的に検討した上で、まとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
10	<b>先行研究の批判的検討③</b> 事前学修：[90分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、批判的に検討した上で、まとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
11	<b>テーマの焦点化と調査方法</b> 事前学修：[60分] これまでの学びを整理し、自らの関心を焦点化する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	講義・ディスカッション(討論)・GW	渋谷
12	<b>研究計画の発表①</b> 事前学修：[90分] 研究計画を立案し、口頭発表の準備をする。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
13	<b>研究計画の発表②</b> 事前学修：[90分] 研究計画を立案し、口頭発表の準備をする。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
14	<b>研究計画の発表③</b> 事前学修：[90分] 研究計画を立案し、口頭発表の準備をする。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点をリアクションペーパーに整理する。	発表・ディスカッション(討論)	渋谷
15	<b>まとめ：授業のふりかえりと今後の課題</b> 事前学修：[60分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[90分] 授業全体を通して、学んだこと、身についたこと、疑問点をリアクションペーパーに整理する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷

## ■ 教科書

教科書は使用しません。

授業中に関連資料を配布します。

## ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介しますが、原則的には、学生自らが検索して入手します。

## ■ フィードバックの仕方

本授業は、教員と受講生との対話を主としています。

口頭発表については、授業内でその都度フィードバックします。

提出課題は、Glexa でフィードバックします。

## ■ 他の授業科目との関連

「基礎ゼミ I」の応用発展的科目です。また、「研究方法論」や卒業研究に関連します。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%)リアクションペーパー、授業での発言など

プレゼンテーション(50%)

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付けます。また、随時、電子メールで質問を受け付けます。

## ■ 受講上の注意事項

受講生の状況などに応じて、授業の内容や方法の一部を修正することがあります。

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

## ○逸見功

### ■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。本ゼミでは特につぎの2点に重きを置く。

- ・クリティカルシンキングについて学ぶ。
- ・根拠に基づく考え方について学ぶ。

これらのスキルと知識の修得により、自分の意見をわかりやすく説明する力とともに、異なる主張の対立点を整理し他者を理解する力を高めることを目的とする。

### ■ 到達目標

1. 論理的思考ができる。
2. 根拠に基づいて意見を述べることができる。
3. 人前での発表ができる。

### ■ 学習の進め方

AL

ひとつのテーマを2回に分けて進める。

1回目：配付資料の課題文にもとづいて賛否いずれの主張に説得力があるかをグループで議論し、発表する。

2回目：担当者の資料内容の紹介によりクリティカルシンキングのスキルと知識について学ぶ。それらを活用して、学生同士で意見交換しながら議論の課題に取り組んだ結果について発表する。

### ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション：クリティカルシンキングの方法</b> 事前学修：[15分] どのような科学技術に関心があるかを中心に自己紹介する準備をする。 事後学修：[15分] 配付資料を読み返す。	講義, 演習, 発表	逸見
2	<b>遺伝子組換え作物(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読み、議論の構造をA4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
3	<b>遺伝子組換え作物(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
4	<b>喫煙を認めるか否か(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読み、議論の構造をA4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
5	<b>喫煙を認めるか否か(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
6	<b>乳がん検診を推進すべきか(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読み、議論の構造をA4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
7	<b>乳がん検診を推進すべきか(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見



No	内容	形式	教員
8	<b>地球温暖化への対応(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読み、議論の構造を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
9	<b>地球温暖化への対応(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4 用紙 2 枚にまとめる。	演習、ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
10	<b>宇宙科学・探査への公的な投資(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読み、議論の構造を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
11	<b>宇宙科学・探査への公的な投資(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4 用紙 2 枚にまとめる。	演習、ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
12	<b>地震の予知(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読み、議論の構造を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
13	<b>地震の予知(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4 用紙 2 枚にまとめる。	演習、ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
14	<b>動物実験の是非(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読み、議論の構造を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
15	<b>動物実験の是非(2)</b> 事前学修：[60分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、発表の準備をする。 事後学修：[30分] ゼミ全体で学んだ内容を振り返る。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見

## ■ 教科書

資料を配付する。

## ■ 参考書、参考資料等

伊勢田哲治ほか編(2013). 科学技術をよく考える. 名古屋大学出版会.

廣野喜幸(2013). サイエнтиフィック・リテラシー. 丸善.

## ■ フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーションのフィードバックは授業時に、提出物のフィードバックは Glexa 上で行う。

## ■ 他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はないが、大学における学修のための基礎となるスキルを扱う。

## ■ 成績評価の仕方

発表 40%、課題 40%、議論への参加 20%

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室および Glexa で質問を受け付ける。

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBFS150

## ○有賀早苗

### ■ 授業の目的

テーマ：「ワークライフバランスとプロ意識」

職業人としてプロ意識を持って働くことと、プライベートな生活との両立・調和について考えていきます。多様性が重んじられる中で、最も多様な個人々の状況を背景に、男女共同参画や、出産・育児・介護等のライフイベントを含む私生活と仕事との両立の推進は、少子高齢化が進行する我が国において、特に重要です。個人的な問題を支えるために必要なことは何か、国や地域で共通して支援しなくてはならないことは何か、男女共同参画・多様性促進を阻む無意識のバイアスや社会的なしくみ、職場・家庭でできる工夫等、様々な角度・立場から現状を踏まえて意見・情報交換します。正解のないテーマ・問いに対し、多様な考え方・感じ方を認識した上で、自身のキャリア形成および社会構成員としての理解・認識形成の基盤を築くと共に、問題点の解決に向けた社会認識・社会構造の変革を促すアプローチについても意見交換しながら考えます。

### ■ 到達目標

1. ワークライフバランスについて現状の問題点を知る
2. 多様な意見を個別的・集約的に議論する方法について実践的に学ぶ
3. 効果的なプレゼンテーションについて学ぶ

### ■ 学習の進め方

グループ(2~3名)での活動を基本に、全体での発表・議論を行う。

様々な意見を拾い上げて集約し議論を深めていく方法として、小グループでの議論を経た発表を通して意見交換していく方法を実践・体験する。大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

### ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション ～テーマの説明 事前学修：[30分] シラバスに目を通しておく。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、自分の興味・関心事項を整理する。	セミナー(講義・ 討論)	有賀早苗
2	グループ分けの準備 ～興味・関心のあるトピックの共有・整理 事前学修：[30分] テーマに関連した事項から、自分の取り上げたいトピックを考えてくる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、自分の興味・関心事項を今一度、整理する。	セミナー(講義・ 討論)	有賀早苗
3	グループ分け ～興味・関心のある共通・関連トピックに応じたグループ分け 事前学修：[30分] テーマに関連した事項から、自分の取り上げたいトピックを再度、考えてくる。 事後学修：[30分] グループワークに向けて、必要なことを考える。	セミナー(講義・ 討論)	有賀早苗
4	グループワーク① 選択したトピックに関する意見交換 事前学修：[30分] グループメンバーに伝えたい自分の意見を考えておく。 事後学修：[30分] 意見交換を踏まえ、関連事項を調査する。	セミナー(演習)	有賀早苗
5	グループワーク② 選択したトピックに関する意見・情報交換 事前学修：[30分] グループメンバーに伝えたい自分の調査結果・意見をまとめておく。 事後学修：[30分] 意見・情報交換を踏まえ、関連事項をさらに調査する。	セミナー(演習)	有賀早苗
6	グループワーク③ 選択したトピックに関する意見・情報交換 事前学修：[30分] グループメンバーに伝えたい自分の調査結果・意見をまとめておく。 事後学修：[30分] 意見・情報交換を踏まえ、関連事項をさらに調査する。	セミナー(演習)	有賀早苗
7	グループワーク④ 選択したトピックに関する意見・情報交換 事前学修：[30分] グループメンバーに伝えたい自分の調査結果・意見をまとめておく。 事後学修：[30分] 意見・情報交換を踏まえ、関連事項をさらに調査する。	セミナー(演習)	有賀早苗

No	内容	形式	教員
8	グループワーク⑤ ～中間発表に向けた論点整理 事前学修：[30分] 中間発表に向けて、グループメンバーに伝えたい自分の意見をまとめておく。 事後学修：[30分] 中間発表に向けて、発表資料を作成する。	セミナー(演習)	有賀早苗
9	グループ中間発表 ～グループワークの進捗状況と今後の展開に向けた整理 事前学修：[30分] 中間発表に向けて、発表案を見直す。 事後学修：[30分] 発表に対する意見等を踏まえ、本発表案を構想する。	セミナー(発表・討論)	有賀早苗
10	グループワーク⑥ ～発表資料(パワーポイント)の作成開始～ 事前学修：[30分] グループワークに向けて、発表資料の素案を考える。 事後学修：[30分] グループワークを踏まえ、発表資料案の追加・改訂を行う	セミナー(演習)	有賀早苗
11	グループワーク⑦ ～発表資料(パワーポイント)の作成継続～ 事前学修：[30分] グループワークに向けて、発表資料案を見直す 事後学修：[30分] グループワークを踏まえ、発表資料案の追加・改訂を行う	セミナー(演習)	有賀早苗
12	グループワーク⑧ ～発表資料(パワーポイント)の作成継続～ 事前学修：[30分] グループワークに向けて、発表資料案を見直す 事後学修：[30分] グループワークを踏まえ、発表資料案の追加・改訂を行う	セミナー(演習)	有賀早苗
13	グループワーク⑨ ～発表資料(パワーポイント)の作成仕上げ～ 事前学修：[30分] グループワークに向けて、発表資料案を見直す 事後学修：[30分] グループワークを踏まえ、発表資料の追加・改訂を行う	セミナー(演習)	有賀早苗
14	グループ発表① ～グループ発表と討論～ 事前学修：[30分] グループ発表の準備を調える 事後学修：[30分] グループ発表・討論を踏まえ、自グループの発表を見直す	セミナー(発表・討論)	有賀早苗
15	グループ発表② ～グループ発表と討論、および総合討論～ 事前学修：[30分] グループ発表の準備を調える 事後学修：[60分] それぞれの発表・討論、および総合討論を踏まえ、レポートを作成する	セミナー(発表・討論)	有賀早苗

## ■ 教科書

使用しません。

## ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて授業内で紹介します。

## ■ フィードバックの仕方

グループ発表時にコメントします。

## ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I

## ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%) 2. グループ発表の内容(50%)

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後、あるいは随時メールで、質問を受け付けます。

## ■ 受講上の注意事項

このゼミへの参加により、将来、エッセンシャルワーカーとして働く皆さんが、仕事もプライベートな生活も充実させ、幸せな日々を送るための心の準備機会が得られたらと思います。

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」変化 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○越後敬子

## ■ 授業の目的

テーマ：差別の問題を考える

世の中には様々な差別が存在している。それは人種・宗教・文化・身分・性別・能力の差など多岐にわたり、また病者に対する差別もその一つである。

かつて日本ではハンセン病患者差別の時代が長く続いた。この授業の前半では、ハンセン病患者で作家の北条民雄の作品『いのちの初夜』や彼の日記をもとに、差別の全容、そして今に続く患者の苦悩を知ること努めたい。

さらに授業の中盤以降では各自がテーマを設定し、世界及び日本に存在する差別の問題を考察する。

具体的なテーマをもとに差別の問題について考えることで、大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 日本におけるハンセン病患者差別の問題について深く知る。
2. 世界や日本に存在する様々な差別について調査し、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、自分の考えを明確に伝える力を養う。

## ■ 学習の進め方

1. ハンセン病患者差別の問題については、教員が講義を行い、受講者には適宜意見を求める。
2. 1と並行して、各自がテーマを設定し、差別の問題について文献を調査する。
3. 自分の考えをまとめてプレゼンテーションする。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>イントロダクション</b> 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む。 事後学修：[30分] 初回授業で取り上げた「差別」の問題について各自で再度考える。	講義(オンデマンド)	越後
2	<b>ハンセン病患者差別について考える①</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
3	<b>ハンセン病患者差別について考える②</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
4	<b>ハンセン病患者差別について考える③</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
5	<b>ハンセン病患者差別について考える④</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
6	<b>ハンセン病患者差別について考える⑤</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論・実習	越後
7	<b>ハンセン病患者差別について考える⑥</b> <b>差別の問題に関する文献調査①</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
8	<b>ハンセン病患者差別について考える⑦</b> <b>差別の問題に関する文献調査②</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後

No	内容	形式	教員
9	<b>ハンセン病患者差別について考える⑧</b> <b>差別の問題に関する文献調査③</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
10	<b>差別の問題に関する文献調査④</b> 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習・文献調査	越後
11	<b>差別の問題に関する文献調査⑤</b> 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習・文献調査 (オンデマンド)	越後
12	<b>差別の問題に関する文献調査⑥</b> 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習・文献調査	越後
13	<b>プレゼンテーション①</b> 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
14	<b>プレゼンテーション②</b> 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] これまでの調査内容をレポートにまとめるための疑問点を確認しておく。 事後学修：[30分] これまでの調査内容をレポートにまとめる。	実習・文献調査	越後

## ■ 教科書

プリントを配布する。

## ■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

## ■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

## ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I の学習内容に基づき、より発展的な事項を扱う。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、口頭発表 40%、レポート 40%

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

## ■ その他

SBFS150

# 人体の構造と機能 I (解剖生理学・生化学①)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHS100

○白井美穂

## ■ 授業の目的

人体の構造と機能 I は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・化学の基礎知識、機能からみた人体、生体を構成する物質、細胞の構造と機能、解剖・組織学総論を学び、それらが説明できる。
- ・消化器系、消化と吸収、物質とエネルギー代謝、呼吸器系、について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できる能力を身に着ける。

## ■ 学習の進め方

基本的に講義形式で行いますが、理解を深めるためにグループワークによるアクティブラーニング形態をとることもあります。知識の定着のため、復習・予習用ノートを準備・記入してください。授業の途中でノートの提出をしてもらう場合があります。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>解剖学を学ぶための基礎知識 (1:体の仕組み)</b> 事前学修：[30 分] 教科書第 1 章 A,B を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
2	<b>解剖学を学ぶための基礎知識 (2:素材からみた人体)</b> 事前学修：[30 分] 教科書第 1 章 C を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
3	<b>栄養の消化と吸収 (1:口頭・咽頭)</b> 事前学修：[30 分] 教科書 2 章 A を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
4	<b>栄養の消化と吸収 (2:食道・胃)</b> 事前学修：[30 分] 教科書 2 章 B ①②を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
5	<b>栄養の消化と吸収 (3:小腸・大腸)</b> 事前学修：[30 分] 教科書第 2 章 B ③～⑥を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
6	<b>栄養の消化と吸収 (4:膀胱)</b> 事前学修：[30 分] 教科書第 2 章 C ①を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
7	<b>栄養の消化と吸収 (5:肝臓)</b> 事前学修：[30 分] 教科書第 2 章 C ②③、第 2 章 D を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
8	<b>呼吸と血液のはたらき (1:呼吸器の構造)</b> 事前学修：[30 分] 教科書第 3 章 A, 第 3 章 B ①②を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井

No	内容	形式	教員
9	<b>呼吸と血液のはたらき(2:肺・呼吸)</b> 事前学修：[30分] 教科書第3章 B ③～⑦を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
10	<b>呼吸と血液のはたらき(3:血液の成分)</b> 事前学修：[30分] 教科書第3章 C ①②を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
11	<b>呼吸と血液のはたらき(4:血液の成分・血液型)</b> 事前学修：[30分] 教科書第3章 C ③～⑦を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
12	<b>血液の循環と調節(1:心臓の構造)</b> 事前学修：[30分] 教科書第4章 A,B を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
13	<b>血液の循環と調節(2:心臓の機能)</b> 事前学修：[30分] 教科書第4章 C を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
14	<b>血液の循環と調節(3:末梢循環系の構造)</b> 事前学修：[30分] 教科書第4章 D,F を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
15	<b>血液の循環と調節(4:心電図)</b> 事前学修：[30分] 教科書第4章 C ②を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井

## ■教科書

坂井建雄 (2022). 系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①. 第11版. 医学書院

## ■参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。

## ■フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

## ■他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

## ■成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、課題 20%、定期試験 60%

## ■オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①月、金曜日②4限の時間帯まで③場所は 426 研究室。その後の質問については、あらかじめアポイントを取ることが望ましい。休日を除く平日 17時までメールでも対応します。

# 人体の構造と機能Ⅱ(解剖生理学・生化学②)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHS101

○白井美穂

## ■ 授業の目的

人体の構造と機能Ⅱは、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・血液と造血、循環器系、腎・泌尿器系、運動器系、皮膚・体温調節について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、分かりやすく他者に説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できる能力を身に着ける。

## ■ 学習の進め方

基本的には講義形式で行う。理解を深めるためにグループワークによるアクティブラーニングを用いる場合もある。知識の定着のため、復習・予習用ノートを準備・記入してください。授業の途中でノートの提出をしてもらう場合があります。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>体液の調節と尿の生成 (1：腎臓の働き)</b> 事前学修：[30分] 教科書第5章 A ①～③を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
2	<b>体液の調節と尿の生成 (2：尿の生成のしくみ)</b> 事前学修：[30分] 教科書第5章 A ③④、第5章 B、C を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
3	<b>内臓の機能の調節 (1：神経系)</b> 事前学修：[30分] 教科書第6章 B、第6章①を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
4	<b>内臓の機能の調節 (2：ホルモン)</b> 事前学修：[30分] 教科書第6章 C ②、③を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
5	<b>内臓の機能の調節 (3：脾臓・副腎)</b> 事前学修：[30分] 教科書第6章 C ④～⑥、第6章 D、E を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
6	<b>身体の支持と運動 (1：体の仕組み)</b> 事前学修：[30分] 教科書第7章 A～C を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
7	<b>身体の支持と運動 (2：筋肉)</b> 事前学修：[30分] 教科書第7章 D、E を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
8	<b>身体の支持と運動 (3：骨)</b> 事前学修：[30分] 教科書第7章 F を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
9	<b>身体の支持と運動 (4：上肢・下肢)</b> 事前学修：[30分] 教科書第7章 G、H を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井



No	内容	形式	教員
10	<b>情報の受容と処理 (1: 脳神経の仕組み)</b> 事前学修: [30 分] 教科書第 8 章 A、B を読んでノートにまとめる。 事後学修: [30 分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
11	<b>情報の受容と処理 (2: 脳の機能)</b> 事前学修: [30 分] 教科書第 8 章 C~F を読んでノートにまとめる。 事後学修: [30 分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
12	<b>情報の受容と処理 (3: 感覚)</b> 事前学修: [30 分] 教科書第 8 章 G~J を読んでノートにまとめる。 事後学修: [30 分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
13	<b>外部環境からの防御(疼痛)</b> 事前学修: [30 分] 教科書第 9 章を読んでノートにまとめる。 事後学修: [30 分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
14	<b>生殖・発生と老化のしくみ (1: 老化の仕組み)</b> 事前学修: [30 分] 教科書第 10 章 B、C を読んでノートにまとめる。 事後学修: [30 分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
15	<b>生殖・発生と老化のしくみ (2: 生殖の仕組み)</b> 事前学修: [30 分] 教科書第 10 章 A、D を読んでノートにまとめる。 事後学修: [30 分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井

## ■ 教科書

坂井建雄(2020). 系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①. 第 10 版. 医学書院.

## ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。

## ■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、授業中や Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

## ■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、課題 20%、定期試験 60%

## ■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①月、金曜日② 4 限の時間帯まで③場所は 426 研究室。その後の質問については、あらかじめアポイントを取ることが望ましい。休日を除く平日 17 時までメールでも対応します。

# 人体の構造と機能Ⅲ(解剖生理学・生化学③および微生物学)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHS150

○白井美穂

## ■ 授業の目的

人体の構造と機能Ⅲは、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

人体の構造と機能Ⅲでは、脳・脳神経、内分泌系、生殖系系について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できるように学習する。さらに三大栄養素・成長・発達・加齢にともなう身体的・精神的特徴、リンパ性器官、免疫のメカニズム、細菌・真菌との性質と感染、原虫・ウイルスの性質と感染、感染症の予防・治療についての知識を身に付ける。

## ■ 学習の進め方

- ・ 授業は講義形式を基本としますが、適宜、自習ノート作成、演習、小テストを行います。
- ・ 授業は教科書の内容を基本として進めていきます。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
- ・ 学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入します。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>糖の性質と機能</b> 事前学修：[30分] 教科書(生化学)の第3.4章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
2	<b>脂質の性質と機能</b> 事前学修：[30分] 教科書(生化学)の第5.6章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
3	<b>タンパク質の性質と機能</b> 事前学修：[30分] 教科書(生化学)の第5.6章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。次回の小テスト対策としてテスト範囲の配布プリントの見直しを行う。	講義	白井
4	<b>小テスト解説・遺伝情報とその発現</b> 事前学修：[30分] 教科書(生化学)の第10.11章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：糖・脂質・たんぱく質の性質と特徴について)	白井
5	<b>代謝の基礎と酵素・補酵素</b> 事前学修：[30分] 教科書(生化学)の第2章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
6	<b>生体を構成する物質とその代謝についてのまとめ</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の講義内容を復習し、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業の内容を振り返り、テストに向けてノートに授業内容のポイントをまとめる。	講義	白井
7	<b>細菌・真菌の性質</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の第1.2章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
8	<b>原虫・ウイルスの性質</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の第4.5章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。小テスト対策として授業で配布した資料の見直しを行う。	講義	白井
9	<b>小テスト解説・感染と感染症</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の第6章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：細菌・真菌・原虫・ウイルスの性質)	白井

No	内容	形式	教員
10	<b>感染に対する生体防御の仕組み</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の第7章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
11	<b>感染源・感染経路からみた感染症</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の第8章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。次回のテストの対策として資料の見直しを行う。	講義	白井
12	<b>小テスト解説・滅菌と消毒</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の第9章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：感染に対する生体防御の仕組み、感染源、感染経路からみた感染症)	白井
13	<b>手形培地を使った手の細菌の同定</b> 事前学修：[30分] 手指の常在菌、通過菌にはどのような菌がいるのか調べてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 実験レポートを作成する。	演習・実験	白井
14	<b>手形培地を使った手の細菌の同定</b> 事前学修：[30分] 実験レポートを作成する 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、レポートに考察として記入する。	演習・実験	白井
15	<b>感染症の治療</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学)の講義内容を振り返り、疑問点をノートに記入する。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、重要ポイントをまとめ、定期試験に備える。	講義	白井

## ■ 教科書

1. 畠山鎮次(2020). 生化学. 第14版. 医学書院
2. 吉田眞一(2020). 微生物学. 第13版. 医学書院

## ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。また、参考資料のプリントを配布する。

## ■ フィードバックの仕方

試験・レポートのフィードバックは、授業時間内またはグレクサ上で解説資料の提示および解説を行う。

## ■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連している。

また、2年次の看護援助論実習[レベルⅡ]の履修要件となっている。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20%)、小テスト(10%)、演習(10%)、定期試験(60%)

## ■ オフィスアワー・研究室等

①曜日：火、金②時間帯：授業後および担当教員の授業時間外(事前にアポイントを取ることが望ましい)③426 白井研究室

# 疾病の成り立ちと回復の促進 I (病理学総論、疾病論：消化器、内分泌・代謝)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHS151

○白井美穂、安達章子、甲嶋洋平、中村純一、多羅尾朋子

## ■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、理論的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践にも役立てることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 消化器系および内分泌・代謝の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を説明できる。

## ■ 学習の進め方

- ・ 授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
- ・ 各授業後に記入してもらうリフレクションペーパーは、授業を受けての感想や疑問の記載を行う。
- ・ リフレクションペーパーの提出はグレクサ上で実施する。基本的にはリフレクションペーパーの返却は行わない。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[30分] 解剖生理学 I, II のプリントとノートを振り返る。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井美穂
2	<b>病理学総論①「病理学とは何か、病気の分類について」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第1章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
3	<b>病理学総論②「循環障害」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第3章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
4	<b>病理学総論③「炎症と免疫、感染症」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第4.5章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
5	<b>理学総論④「代謝異常、先天異常」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第6.8章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
6	<b>病理学総論⑤「腫瘍」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第9章を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
7	<b>内分泌・代謝疾患①「視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」第5章 A:1 ①②③を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
8	<b>内分泌・代謝疾患②「副甲状腺疾患、副腎疾患」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」第5章 A:④⑤を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
9	<b>内分泌・代謝疾患③「糖尿病①」</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」第5章 B:①～⑧を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子

No	内容	形式	教員
10	内分泌・代謝疾患④「糖尿病②」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」第5章 B:①～⑧を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
11	消化器疾患内科①「上部消化管:食道、胃、十二指腸疾患の検査、診断、治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 A,B を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	佐藤 平
12	消化器疾患内科②「下部消化管:腸および腸膜疾患の検査、診断、治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 C を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	佐藤 平
13	消化器疾患内科③「肝胆膵:肝臓・胆嚢疾患、膵臓疾患検査、診断、治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第4章 A,B,5章 D,E を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	甲嶋洋平
14	消化器疾患外科①「上部・下部消化管の外科的治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 A,B,C および系統看護学講座・別巻 臨床外科看護各論第3章 A,B,C を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	中村純一
15	消化器疾患外科②「肝臓、胆道、膵臓の外科的治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」4章 A,B,5章 D,E および系統看護学講座・別巻 臨床外科看護各論第5章 D～G を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	中村純一

## ■ 教科書

- ・大橋健一 (2021). 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 第5版. 医学書院
- ・吉岡成人 (2019). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 第15版. 医学書院
- ・南川雅子 (2019). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 第15版. 医学書院

## ■ 参考書、参考資料等

- ・田中越朗 (2017). 系統看護学講座 専門基礎分野 病態生理学 第2版. 医学書院
- ・北島政樹 (2017). 系統看護学講座 臨床外科看護各論 第9版. 医学書院

## ■ フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、グレクサ上で解説資料の提示および解説を行う。

## ■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています。また、「看護援助論実習レベルⅡ」の履修要件となっています。

## ■ 成績評価の仕方

リフレクションペーパー(15%)および定期試験(85%)を総合して評価します。

## ■ オフィスアワー・研究室等

白井：開講期間中の①火、金曜日②1.2限の時間帯③場所は 426 研究室。その時間以外の質問については、あらかじめアポイントを取ることが望ましい。休日を除く平日 17 時までメールでも対応します。

# 看護学概論 I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」擁護 「3」成長 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNIN100

○岡田彩子

## ■ 授業の目的

看護とは何かを探求するために、看護の歴史、制度、教育的な変遷を理解する。さらにケアの原理を中心に看護に関する重要概念や理論を学習することで看護学全体の学びへの動機づけを図る。

## ■ 到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念(健康、環境、人間、看護)を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

## ■ 学習の進め方

1. 講義
2. [AL] グループワーク:提示したテーマに関して授業中に 20-30 分程度の時間をとる。グループおよびクラス全体で意見交換を行う。
3. 授業内容の振り返り:授業終了時に配布される振り返り用紙に授業への質問、意見、感想を記入し、締め切りまでに提出する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 現代医療と看護ケア、看護の主要概念(健康・環境・人間・看護) 事前学修：[30分] 現代医療の中の看護について調べ、考えを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
2	<b>看護の歴史・看護の変遷、職業としての看護(看護職の職業的發展)、看護職の養成と修業状況および学問的發展</b> 事前学修：[40分] ナイチンゲールの業績を調べて、A4 用紙 1 枚程度にまとめる。 事後学修：[20分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
3	<b>看護における倫理・法</b> 事前学修：[30分] 教科書第 5 章、第 6 章 pp247-256 を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
4	<b>保健医療福祉システムと多職種連携</b> <b>看護サービス提供の仕組みとチーム医療の中の看護</b> 事前学修：[40分] 地域包括システムについて、居住する地域の仕組みを調べる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
5	<b>看護理論① 看護理論の成り立ちと機能</b> <b>F. ナイチンゲール、V. ヘンダーソン、A. ウィデンバック</b> 事前学修：[30分] A. ウィデンバックの資料を読み A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議・GW]	岡田
6	<b>看護理論② 人間関係論、相互作用論(トラベルビー)</b> 事前学修：[30分] トラベルビーの理論を調べる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議・GW]	岡田
7	<b>看護理論③ システム理論、ケアリング</b> 事前学修：[30分] D. オレムの理論、もしくは、B ニューマンの理論を調べる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議・GW]	岡田
8	<b>看護サービスの管理、評価、看護専門職の生涯学修とその支援</b> 事前学修：[30分] 教科書第 6 章 pp. 271-304 を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田

## ■ 教科書

茂野香おる、吉岡京子、林千冬、益加代子、玉田正美他(2020年). 系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学①. 第 17 版. 医学書院.

### ■ 参考書、参考資料等

グレクサ内に提示、もしくは、授業開始時に別紙にて配布する。

### ■ フィードバックの仕方

課題のフィードバックは提出後 3 週間以内に、コメント付して返却する。

試験問題の解説に関する資料は、試験後に掲示する。詳細は、グレクサ内に提示する。

### ■ 他の授業科目との関連

レベル I 実習の履修要件になっている。1 年次以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論など、これから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み・振り返り用紙 15%

プロセスレコード 10 %

定期試験 75%

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業日の 12 : 10 ~ 12 : 40

それ以外の時間は、事前にアポイントメントをとってください。a-okada@redcross.ac.jp に連絡をして下さい。

岡田研究室は、大宮キャンパス(410)です。

### ■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

# 看護技術論 I (援助的人間関係)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」成長 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNFN100

○松本佳子、小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘子、遠藤公久、宮本晶

## ■ 授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起きている(いた)のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせで行います。

演習の主な内容は、グループワークとロールプレイです。

学生を全 8 グループに分け、8 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。

その他の演習として、映画鑑賞、ロールプレイに基づく話し合いなどを予定しています。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>援助的人間関係の基本的な考え方</b> 事前学修：[30 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 講義および演習の進め方について資料を読んで理解する。	講義	松本
2	<b>気質やパーソナリティ類型を用いた自己理解の方法</b> 事前学修：[30 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義内容について資料を読み返す。	講義・演習	松本
3	<b>感性を磨く技法-異和感の対自化-</b> 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 異和感を覚えた場面について振り返って、指定の用紙にまとめる。	講義・演習	松本
4	<b>映画観賞とグループワーク①</b> 事前学修：[30 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
5	<b>映画観賞とグループワーク②</b> 事前学修：[30 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
6	<b>構成的グループワーク①</b> 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
7	<b>構成的グループワーク②</b> 事前学修：[30 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
8	<b>小グループに分かれてのグループワーク①</b> 事前学修：[30 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
9	<b>小グループに分かれてのグループワーク②</b> 事前学修：[30 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
10	<b>小グループに分かれてのグループワーク③</b> 事前学修：[30 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員



No	内容	形式	教員
11	小グループに分かれてのグループワーク④ 事前学修：[30分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
12	援助的人間関係における自己一致 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義・演習	松本
13	「きく-はなす」のロールプレイ① 事前学修：[30分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	演習	小宮・松本・宮本
14	「きく-はなす」のロールプレイ② 事前学修：[30分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
15	グループワークのまとめ・レポートの書き方 事前学修：[30分] グループワーク演習での体験を読み返して要点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] グループワークを通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義・振り返り	松本

### ■ 教科書

適宜、プリントを配布します。

### ■ 参考書、参考資料等

武井麻子(2002).『グループ』という方法, 医学書院.

平木典子(2000). 自己カウンセリングとアサーションのすすめ, 金子書房.

### ■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、後期中に、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。返却可能な時間や教室はポータルで連絡します。

### ■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅠ〕を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

### ■ 成績評価の仕方

演習への取り組み(50%)とレポート(50%)に基づいて評価します。なお、レポートは、演習に参加しての感想文(20%)と最終レポート(30%)で評価します。

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業日の12:30~12:50、小宮(402 研究室)、松本(412 研究室)で質問や相談に応じます。

### ■ 受講上の注意事項

演習は、何よりも参加が基本です。欠席をしないようにして下さい。

# 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNFN150

○中村滋子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

## ■ 授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法及びプロセスを学習する。

## ■ 到達目標

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は動画の視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>フィジカルアセスメント概論と基本技術</b> 事前学修：[30分] 事前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
2	<b>面接技法と基本技術</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	<b>一般状態と生命の徴候 1 体温・呼吸・意識</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
4	<b>体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	<b>一般状態と生命の徴候 2 脈拍・血圧</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
6	<b>脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	<b>食ること・栄養を取り込むこと</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
8	<b>食ること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	<b>排泄すること・セクシュアリティ</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
10	<b>排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	<b>身体を動かすこと</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
12	<b>身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	<b>技術の習得について確認を行う</b> 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを見直ししながら、技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック・ 振り返り	全員
14	<b>技術の習得について確認を行う</b> 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを見直ししながら、技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック・ 振り返り	全員
15	<b>実践にむけてのまとめ</b> 事前学修：[30分] 知識の確認問題に取り組む 事後学修：[60分] ①技術を洗練させるために反復練習を行う ②知識の確認問題の解答を見直す	講義	中村

## ■教科書

1. 守田美奈子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.
2. 松尾ミヨ子他編 (2022). ナーシンググラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 第1版. メディカ出版.

## ■参考書、参考資料等

1. 奈良信雄監訳 (2011). 世界で一番美しい人体図鑑. エクスナレッジ.
- \*資料は適宜配布

## ■フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容、Glexaに投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 技術チェックのフィードバックは、試験終了後、採点者が行う。
5. 技術チェックの結果は、まとめの授業内にて返却する。
6. 筆記試験の結果は、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)の初回授業で振り返りを行う。

## ■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件となっている。
2. 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学ぶ。

## ■成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz など)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり) 技術チェック 30% 筆記試験 60%

## ■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定する(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：中村(424)、殿城(425)、酒井・竹山(431)、篠原(429)、原(413)、中島(414)、山本(430)、川端(415)

## ■受講上の注意事項

30分以上の遅刻は欠席とみなす。

基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。

# 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNFN101

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

## ■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>看護技術概論</b> 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
2	<b>感染予防に関する援助技術①</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
3	<b>感染予防に関する援助技術① &lt;技術演習：手洗い、ガウンテクニック&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	<b>環境整備に関する援助技術</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
5	<b>環境整備に関する援助技術 &lt;技術演習：環境調整・環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	<b>休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
7	<b>休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術① &lt;技術演習：ボディメカニクス・体位変換&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	<b>活動・運動に関する援助技術②</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城

No	内容	形式	教員
9	<b>活動・運動に関する援助技術② &lt;技術演習：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
10	<b>食事・口腔ケアに関する援助技術</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
11	<b>食事・口腔ケアに関する援助技術 &lt;技術演習：食事の介助・口腔ケア&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	<b>排泄に関する援助技術①</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
13	<b>排泄に関する援助技術① &lt;技術演習：一般的な排泄の援助&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	<b>前期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
15	<b>前期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

## ■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 松尾ミヨ子他編 (2022). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術. 第1版. メディカ出版.

## ■ 参考書、参考資料等

1. 川嶋みどり監修 (2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

\*資料は適宜配布

## ■ フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容、Glexaに投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 技術チェックのフィードバックは、試験終了後に採点者が行う。
5. 筆記試験のフィードバックは、関連する後期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)の第1回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行う。技術チェックの採点表も同日に返却する。

## ■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習 [レベルⅠ] の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

## ■ 成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz など)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり)、技術チェック 30%、筆記試験 60%

## ■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：殿城(425研究室)、中村(424研究室)、酒井・竹山(431研究室)、篠原(429研究室)、原(413研究室)、中島(414研究室)、山本(430研究室)、川端(415研究室)

## ■ 受講上の注意事項

- ・30分以上の遅刻は欠席とみなす。

- ・基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。
- ・実習要項を参照し、身だしなみを整えること。
- ・ディスカッション・演習には積極的に参加し、考えや感想を表現すること。

# 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNFN151

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

## ■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔の援助 概論 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
2	清潔の援助① <技術演習：寝衣交換> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
3	清潔の援助① <技術演習：寝衣交換> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	清潔の援助② <技術演習：部分浴(洗髪・手浴・足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
5	清潔の援助② <技術演習：部分浴(洗髪・手浴・足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	清潔の援助③ <技術演習：全身清拭・陰部洗浄> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
7	清潔の援助③ <技術演習：全身清拭・陰部洗浄> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	清潔の援助④ <技術演習：全身清拭・陰部洗浄> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	<b>感染予防に関する援助技術② 滅菌・消毒・無菌操作</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
10	<b>感染予防に関する援助技術② &lt;技術演習：無菌操作&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	<b>排泄に関する援助技術② 導尿</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
12	<b>排泄に関する援助技術② &lt;技術演習：導尿&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	<b>電法、ヒヤリハット</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	講義・演習	中村・殿城
14	<b>後期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
15	<b>後期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

## ■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 松尾ミヨ子他編 (2022). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術. 第1版. メディカ出版.

## ■ 参考書、参考資料等

1. 川嶋みどり監修 (2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

\*資料は適宜配布

## ■ フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容、Glexaに投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 技術チェックのフィードバックは、試験終了時に採点者が行う。
5. 筆記試験のフィードバックは、関連する2年次前期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)の第1回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行う。技術チェックの採点表も同日に返却する。

## ■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

## ■ 成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz など)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり)、技術チェック 30%、筆記試験 60%

## ■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：殿城(425研究室)、中村(424研究室)、酒井・竹山(431研究室)、篠原(429研究室)、原(413研究室)、中島(414研究室)、山本(430研究室)、川端(415研究室)

## ■ 受講上の注意事項

- ・30分以上の遅刻は欠席とみなす。



- ・基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。
- ・実習要項を参照し、身だしなみを整えること。
- ・後期は、演習のみの単元が多く、事前課題に取り組んでいることを前提に演習が展開される。必ずテキスト・動画を見て予習をしてから参加すること。
- ・ディスカッション・演習には積極的に参加し、考えや感想を表現すること。

# 看護援助論Ⅱ(生命の維持)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNCN150

○仁昌寺貴子

## ■授業の目的

人がどのようにして生きているのか、生命維持の仕組みを理解する。その上で生命を脅かす呼吸、循環、中枢機能不全状態とその関連性を理解し、生命維持に必要な看護援助の理論と方法を学ぶ。

## ■到達目標

1. 呼吸、循環、中枢機能と生命維持との関連を理解する。
2. 呼吸機能、循環機能、中枢神経系の機能の不全もしくは障害により生じる生命危機状況を理解する。
3. 生命危機を回避すると同時に、生命を維持するために必要な基本的な看護援助に関する理論と方法を学ぶ。

## ■学習の進め方

AL

1. 事前学修課題に取り組み、学習に必要な基礎知識を復習・整理する。
2. 資料は授業中に配布する。必要時には、授業日前に Glaxa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

## ■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション 呼吸と循環のメカニズムとつながり/生命維持の仕組み</b> 事前学修：[30分] 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの教科書および、資料を復習し呼吸と循環のつながりについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
2	<b>呼吸機能の障害により生じる症状・観察・検査・治療</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 42-56 頁を読み、呼吸器の主な症状についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
3	<b>呼吸機能に障害をもつ人の生命および生活への影響と援助の視点</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 2-3 頁を読み、Kさんの症状が生活に及ぼす影響についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺
4	<b>呼吸機能に障害をもつ人への看護</b> 事前学修：[30分] 第2・3回の講義を振り返り、呼吸機能に障害をもつ人への援助について自分の考えをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺
5	<b>循環機能の障害により生じる症状・観察・検査・治療</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 32-46 頁を読み、循環器の主な症状についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
6	<b>循環機能に障害をもつ人の生命および生活への影響と援助の視点</b> 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 2-3 頁を読み、Yさんの症状が生活に及ぼす影響について自分の考えをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺
7	<b>循環機能に障害をもつ人への看護</b> 事前学修：[30分] 第5・6回の講義を振り返り、循環機能に障害をもつ人への援助についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺
8	<b>まとめ 生命を維持するために必要な看護援助</b> 事前学修：[30分] 第1～7回までの講義資料を読み返し疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション GW	仁昌寺

## ■教科書

浅野浩一郎他 (2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 [2] 呼吸器. 第 15 版. 医学書院.

吉田俊子他 (2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 [2] 循環器. 第 15 版. 医学書院.

## ■参考書、参考資料等

人体の機能と構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで用いた教科書を使用する。

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

## ■フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準と解答傾向の解説を Glexa 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

## ■他の授業科目との関連

1. 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに基づいた看護援助についての内容を扱う。
2. 疾患の成り立ちと回復の促進Ⅱ、看護援助論Ⅰ、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)に関連する。
3. 本科目の修了試験受験資格を有することが看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

## ■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、筆記試験 70%

## ■オフィスアワー・研究室等

授業開講日授業後(17:00 迄) 仁昌寺(423 研究室)

# 看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNCN100

○喜多里己

## ■ 授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

## ■ 到達目標

- ①さまざまな年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
- ②清潔が脅かされるとき生活への影響を説明できる。
- ③感染症の特徴とその対応を説明できる。
- ④感染症が生活に与える影響と感染防御の必要性及びその方法について説明できる。
- ⑤感染症のある人、易感染状態にある人への看護援助の目標と方法を説明できる。

## ■ 学習の進め方

### 1. 授業の展開

- ・事前学修課題：授業の1週前に Glexa に提示する。授業開始までに取り組んでくる。
- ・授業：事前学修課題、講義と GW を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
- ・事後学修課題：授業で学んだこと、感想などを記載し、指定の日時に Glexa に提出する。

### 2. 参考資料の提示

- ・授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または配布資料に参考資料を記す。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>感染防御に必要な身体のしくみ</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義・GW	喜多
2	<b>感染防御の成り立ち</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義・GW	喜多
3	<b>生活の中で「清潔」ということの意味</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義・GW	喜多
4	<b>「清潔」と「感染防御」とは？</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義・GW	喜多
5	<b>感染症の特徴とその対応</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義	喜多
6	<b>感染防御の必要性と方法</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義・GW	喜多
7	<b>感染症が人々の生活や社会に与える影響</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義・GW	喜多
8	<b>感染症の人々・易感染状態の人々への看護援助</b> 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 「事後学修課題」に授業の学び・感想をまとめ、Glexa に提出する	講義・GW	喜多

## ■ 教科書

なし

## ■ 参考書、参考資料等

- ・看護技術論Ⅲ①で使用される教科書を参考にします。

### ■ フィードバックの仕方

1. 「事後学修課題」に書かれた内容は、次回授業でフィードバックする。
2. 授業内容の理解を確認するため、Glexa 内または授業内で確認テストを行う。
3. 定期試験のフィードバックは、試験終了直後に解説資料の配付を通じて行う。

### ■ 他の授業科目との関連

本科目は、1 年前期から開始される「人体の構造と機能」「看護技術論」に関連する。また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1 年後期の看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件である。

### ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題・授業内ミニテスト) 20%、2. リアクションシート 20 %、3. 定期試験 60%

### ■ オフィスアワー・研究室等

・ 授業開講日の 12：30～12：50 に研究室で受け付ける(407 研究室)。

### ■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなします。

既習知識を確認しながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加することを期待します。

# コミュニティ論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」探求 「3」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC100

○鷹田佳典

## ■授業の目的

コミュニティとは、人がそこに何らかの帰属意識を持ち、メンバー間で連帯と相互扶助的関係が成り立っているような集団のことを指します。コミュニティはその成員に対し、承認やつながりの感覚、有形無形の支援を与えてくれるものであり、したがってケアと深く関わっています。本講義では、コミュニティについての基礎知識について学ぶとともに、伝統的な社会から近代社会を経て、現代に至る過程でコミュニティがどのような変遷を辿ってきたのかを確認します。そうすることで、現代社会を生きるわれわれにとって、コミュニティがどのような存在であるかについて考えることが本講義の目的です。

## ■到達目標

1. コミュニティとは何かを説明することができる。
2. コミュニティがどのような主体によって担われているのかを説明することができる。
3. 現代コミュニティの特徴を説明することができる。

## ■学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回、授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

## ■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>コミュニティとは何か：コミュニティ論の基礎概念について学ぶ</b> 事前学修：[30分] コミュニティという言葉でイメージするものについてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	<b>都市/地域社会とコミュニティ：都市とコミュニティの関係について学ぶ</b> 事前学修：[30分] 都会と田舎の違いをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	<b>コミュニティと社会的ネットワーク：さまざまな「縁」という視点からコミュニティについて学ぶ</b> 事前学修：[30分] われわれの社会にどのような縁(つながり)があるのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	<b>コミュニティ活動の担い手：コミュニティ活動がどのような主体によって担われているのかについて学ぶ</b> 事前学修：[30分] 自治会・町内会が地域で果たす役割をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	<b>コミュニティへの関心・関与：地域住民がどのようにコミュニティに関わっているのかを学ぶ</b> 事前学修：[30分] 自分が参加したことのあるコミュニティ活動についてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	<b>コミュニティと文化：コミュニティと文化の関わりについて学ぶ。</b> 事前学修：[30分] 地域のお祭りについて調べ、その内容をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	<b>コミュニティと社会関係資本：コミュニティとソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の関わりについて学ぶ</b> 事前学修：[30分] 健康格差に与える社会的要因をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	<b>現代社会におけるコミュニティ：現代社会におけるコミュニティの特性について学ぶ。</b> 事前学修：[30分] よいコミュニティの条件をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

## ■教科書

特定の教科書は使用しません。必要に応じて資料を配布します。

## ■参考書、参考資料等

参考文献は毎回授業時に紹介します。

## ■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後、口頭で解説を行います。

## ■他の授業科目との関連

1年次後期以降に開講されるコミュニティアケア関連科目(コミュニティ演習、コミュニティアケアⅠ～Ⅳ、公衆衛生看護学)の基礎的な学習になります。

コミュニティアケア実習 [レベルⅣ] の履修要件となっています。

## ■成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、試験(60%)

## ■オフィスアワー・研究室等

①月曜日、②昼休み、③427 研究室

# コミュニティケア I (地域看護学)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」コミュニティ貢献 「2」連携 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC150

○成木弘子、藤川あや

## ■ 授業の目的

地域で生活する人びとの健康や QOL の向上をめざした、地域における看護活動について、基本的かつ包括的に理解する。具体的には、地域における看護職の活動の場と役割、地域の社会資源、看護の継続の必要性や地域連携の重要性について学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 国内の社会情勢に応じた看護ニーズの変化と対応を理解できる。
2. 地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
3. 地域における看護職の看護ケアの対象と支援の特徴について理解できる。
4. 健康危機管理の重要性について理解できる。

## ■ 学習の進め方

講義・演習・グループワークを通して、地域看護活動について理解を深める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>社会の変化と健康課題</b> 事前学修：[30 分] 各自が住んでいる市町村の健康課題や保健対策の状況に関して、新聞や区報等で把握し、400 字～600 字にまとめて記述し講義時に持参する。講義終了後に事後課題と一緒に提出する。 事後学修：[30 分] 講義終了時に提示される課題について 400 字～600 字にまとめ、当日 23 時 59 分までにグレクサの指定されたフォルダーに保存し提出とする。	講義	成木
2	<b>地域看護・公衆衛生看護の理念・概念①社会の変化と健康課題</b> 事前学修：[30 分] 前回の講義終了時に提示された事前学習課題に関して、400 字～600 字にまとめて講義時に持参する。講義終了後、当日の事後課題と一緒に提出する。 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
3	<b>地域看護・公衆衛生看護の理念・概念②地域看護・公衆衛生看護の概要</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
4	<b>地域看護・公衆衛生看護の理念・概念③公衆衛生のエッセンス</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
5	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性① 地域保健(国・県)</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
6	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性② 地域保健(市町村・その他の領域など)</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
7	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性③ 職域保健</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	藤川
8	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性④ 学校保健</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	藤川
9	<b>地域看護・公衆衛生活動看護の場と特性⑤ 在宅療養</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	藤川
10	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法① 個人</b> 事前学修：[30 分] 2 回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30 分] 1 回目 (No.1) の内容と同様	講義	藤川



No	内容	形式	教員
11	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法② 家族 事前学修：[30分] 2回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30分] 1回目 (No.1) の内容と同様	講義	藤川
12	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法③ 集団 事前学修：[30分] 2回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30分] 1回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
13	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法④ 地域集団(コミュニティ) 事前学修：[30分] 2回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30分] 1回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
14	健康危機管理 事前学修：[30分] 2回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30分] 1回目 (No.1) の内容と同様	講義	成木
15	まとめ ディスカッション 事前学修：[30分] 2回目 (No.2) の内容と同様 事後学修：[30分] 1回目 (No.1) の内容と同様	演習	成木

## ■教科書

- ・神馬征峰(2021)系統看護学講座専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生. 第15版. 医学書院.
  - ・上野 昌江 (2021) 公衆衛生看護学. 第3版. 中央法規出版.
- ※上記2冊は、次年度後期開講される「コミュニティケアⅣ」でも使用予定

## ■参考書、参考資料等

適宜、紹介する。

## ■フィードバックの仕方

- ・事前課題事後課題のリアクションペーパーは、内容を確認後に必要に応じてコメントを付し、最終講義後に返却する。
- ・試験のフィードバックは、試験実施後2週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

## ■他の授業科目との関連

前期に履修した「コミュニティ論Ⅰ」と関連する。2年次以降で学習するコミュニティケアⅡ～Ⅳなど地域関連科目及び保健師教育課程選択者の科目と関連する。  
コミュニティケア実習〔レベルⅣ〕の履修要件となっています。

## ■成績評価の仕方

1. 事前・事後課題に関するリアクションペーパーの提出状況および記述内容 (30%)
2. 定期試験(70%)

## ■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 成木(404 研究室)、藤川(411 研究室)

## ■受講上の注意事項

1. 主体的な参加を期待します。
2. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはグレクサでのメールで伝えます。
3. 開始 30 分までは遅刻を認めるが、遅刻を 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとします。
4. 授業に関係のない事柄に関してスマホや PC で検索すること、居眠りや途中退席などは減点対象とすることがあります。

# 災害看護論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 実務経験がある  
教員：－ 科目ナンバー：SNVN100

○内木美恵、橋爪朋子

## ■ 授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

## ■ 到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字の果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

## ■ 学習の進め方

- ・ 授業の展開：講義形式、一部 GW 形式で行う。
  - ・ 科目担当者の実務経験から、災害看護に関する具体的な事例を取り上げ、災害現場や被災者の状況、救護班の活動のイメージができるように写真等も交えて紹介する。
1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
  - 2.1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
  3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
  4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション、災害と気候変動・災害の定義</b> 事前学修：[30分] 昨今の災害についての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
2	<b>災害看護の歴史と定義、赤十字における災害救護活動の実際</b> 事前学修：[30分] 教科書の「A 災害看護のあゆみ」について読み発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
3	<b>災害サイクルに対応した災害看護活動</b> 事前学修：[30分] 災害サイクルについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
4	<b>災害医療とトリアージの原則・方法</b> 事前学修：[30分] 2種類のトリアージについて調べ、概要が説明できる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪
5	<b>防災対策の基本(自助・共助・公助)</b> 事前学修：[30分] 自助について説明できるよう調べ、自分が実際に行っている自助について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	内木
6	<b>災害看護と法律・制度</b> 事前学修：[30分] 災害発生時の法律について興味のあるものについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木
7	<b>災害とところの変化</b> 事前学修：[30分] ストレスについての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪

No	内容	形式	教員
8	<b>災害と健康課題 コースサマリー</b> 事前学修：[30分] 災害による健康課題について調べてノートにまとめる。 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪

### ■ 教科書

浦田喜久子編(2021). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院.

### ■ 参考書、参考資料等

なし

### ■ フィードバックの仕方

1. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
2. 定期試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に Glexa 上で行う。

### ■ 他の授業科目との関連

看護技術論等で学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害看護に欠かせない基本的な知識を学習する。

### ■ 成績評価の仕方

定期試験(記述式) 60%、授業への取り組み(毎回のリフレクションペーパーの内容)を 40%とし、総合して評価を行う。

※リフレクションペーパーの提出期限に遅れた場合は 20%の減点とする。

### ■ オフィスアワー・研究室等

1. 授業終了後に教室で質問を受け付ける。
2. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。

※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

# 災害看護活動論 I

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」コミュニティ貢献 「3」連携 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNVN150

○織方愛、根岸京子、野口眞貴子、内木美恵、橋爪朋子

## ■ 授業の目的

1. 災害発生時における現場救護所の設営や運営に必要な組織的な運営、各役割について理解する。
2. シミュレーションや演習を通して、災害急性期の看護活動に必要なとされる基本的な判断力、救護技術、心構えと態度、行動力を習得する。

## ■ 到達目標

1. 赤十字救護班の派遣体制の基本について理解する。
2. 災害現場を想定したシミュレーションを通して、状況の情報収集から必要な救護活動のアセスメントができる。
3. 避難所の運営に必要な知識・技術を習得することができる。
4. さいたま市中央区・大宮区を知り災害ハザードに気づくことができる。
5. 災害急性期に果たす役割を理解することができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

1. 事前課題に取り組む。
2. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。
3. 事後課題に取り組む。
4. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し、学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
5. 4. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
6. 授業は日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て行う。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、目標設定のグループワーク 災害図上訓練(DIG)①講義 事前学修：[30分] 災害看護論I 授業資料に目を通し、A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
2	災害図上訓練(DIG)②地区探索：上落合地区 事前学修：[30分] 上落合地区の地図に目を通して災害時に危険そうな場所を3か所以上考えてくる 事後学修：[30分] 地区探索を行い、発表資料を制作する。	講義・屋外演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
3	災害図上訓練(DIG)③発表 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習・討論	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
4	避難所運営ゲーム(HUG) 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 避難所運営について看護学生の貢献できることを考え A4用紙1枚程度にまとめる	講義・演習・討論	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
5	避難所運営ゲーム(HUG) 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 避難所運営について看護学生の貢献できることを考え A4用紙1枚程度にまとめる	講義・演習・討論	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
6	赤十字救護技術演習①規律行動訓練 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 日本赤十字社の救護に関する資料を読み、A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤

No	内容	形式	教員
7	<b>赤十字救護技術演習②通信手段：無線機の取り扱い</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
8	<b>赤十字救護技術演習③自家発電機の取り扱い</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 発表資料の作成準備を行う 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
9	<b>赤十字救護技術演習④担架の取り扱い</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
10	<b>赤十字救護技術演習⑤簡易ベッドの設営</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
11	<b>赤十字救護技術演習⑥医療救護所の設営等</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習・討論	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
12	<b>赤十字救護技術演習⑦総合演習：医療救護所開設シミュレーション</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
13	<b>赤十字救護技術演習⑧総合演習：医療救護所開設シミュレーション</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
14	<b>赤十字救護技術演習⑨総合演習：医療救護所開設シミュレーションの検証</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・内木・橋爪・富澤
15	<b>赤十字救護技術演習⑩総合演習：振り返り・フィードバック</b> 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習・討論	織方・根岸・内木・橋爪・富澤

## ■ 教科書

各プログラムに必要な資料を作成し授業中に配布する。

## ■ 参考書、参考資料等

浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院

## ■ フィードバックの仕方

- ①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。
- ②定期試験のフィードバックは、試験実施後 3 月 31 日までに Glexa 上で行う。

## ■ 他の授業科目との関連

1 年前期の災害看護論で学んだ「災害急性期看護の基本」、2 年次後期で学ぶ災害看護活動論Ⅱによる「被災者と救援者のこころのケア」が、演習を通して災害急性期の傷病者の援助を学ぶ上で本講義に関連している。

## ■ 成績評価の仕方

1. 課題レポート 50 %
2. 授業内のプレゼンテーションへの取組み 40 %
3. 小テスト 10 %

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

## ■ オフィスアワー・研究室等

- ①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
- ②授業開講日に随時メールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。

## ■ 受講上の注意事項

1. 災害にかかる知識の習得だけでなく、技術や心構え、行動化まで習得できるようなプログラム構成や企画を立案している。参加度、チームワーク、話し合いが重要となる。傷病者体験をすることで傷病者のこころの状態の理解にも努める。
- 2.5 コマ×3日間(2022年2月21・22・24・25日のうち3日間を今後確定する)の集中講義を予定している。特に救護技術訓練・DIG(地区探索)は屋外での演習となるため、体調管理・安全管理に十分留意すること。初回までに注意点を案内する。

# 看護援助論実習〔レベルⅠ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」関係 「2」探求 「3」実践 実務経験がある  
教員：○ 科目ナンバー：SNNP150

○岡田彩子、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人、服部弓子、小田綾、松島史絵、宮本晶

## ■ 授業の目的

臨床看護の場において看護ケアを必要としている人々との直接的なかかわりを通して、個々人の援助を必要とするニーズを理解し、既習の知識・技術を活用しながら基本的な看護援助について学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 対象者に積極的に関心をもつ。
2. 対象者と自分との相互作用に気づき、対象者の身になって感じ、考える。
3. 対象者を生活者として把握する。
4. 健康上の問題が対象者の生活行動に及ぼす影響を理解する。
5. 対象者の援助を必要とするニーズを理解する。
6. 既習の知識・技術を用いて対象者の健康に資するよう援助する。
7. 対象者のもつ力を活かすように援助する。
8. 行った看護を言語化し、吟味する。

## ■ 学習の進め方

1. 学内オリエンテーション：実習の目標、スケジュール、事前学習課題等を確認し、事前準備、実習に求められる知識や技術等について確認する。
2. 病院実習：入院中の患者を1～2名担当し、患者への関わりを通して必要なニーズを把握し、日常生活行動の援助を行う。その過程を通し、援助的な関係を深める。学生自身が看護の展開プロセスの中で気付いたり、感じ、考えたりしたことは、実習記録、カンファレンスで言語化し、グループメンバーとディスカッションできるようにする。
3. 学習体験発表・レポート：学習体験発表では、実習での学びを振り返り発表する。学習体験発表内容をさらに深めてレポートにまとめる。
4. 評価面接：学生が記録した自己評価表をもとに、学生と担当教員が評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習日程：2023年1月16日(月)～1月27日(金)

実習場所：さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院、小川赤十字病院

実習時間：8時30分～16時30分

\*実習オリエンテーションは時間割を参照のこと。

\*なお、レベルⅠ実習の一部として、2022年8月4日(金)に見学実習を行う。見学実習では、「さまざまな健康レベルにある人々への看護援助場面の見学を通して、援助の実際や場の特性を知る」ことを目的とする。詳細は実習要項を参照のこと。

## ■ 教科書

なし

## ■ 参考書、参考資料等

実習オリエンテーションのときに、参考図書・資料を提示する。

## ■ フィードバックの仕方

- ①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う。
- ②実習記録自己評価表の教員コメント欄にてフィードバックを行う。

## ■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰ、看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ①・Ⅲ②、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰなどの学習が土台になる。

## ■ 成績評価の仕方

自己評価表に基づく面接35点、学習体験発表10点、実習への取り組み姿勢(実習オリエンテーション時々の課題を含む)・カンファレンスへの参加度35点、課題レポート20点 合計100点で評価する。

## ■ オフィスアワー・研究室等

実習オリエンテーション日の昼休み。 各施設責任者(各研究室)\*各施設責任者名は別途資料を参照のこと。

## ■ 受講上の注意事項

実習オリエンテーションは、時間厳守で臨むこと。原則として、事前に連絡せずに実習オリエンテーションに遅刻、欠席した場合は、実習を履修できないので、注意すること。

# 科目一覧

★赤十字概論★ (○角田敦彦) .....	1
★心理学概論★ (○遠藤公久) .....	3
★身体運動理論★ (○白井美穂) .....	5
★身体運動実技★ (○白井美穂) .....	7
★社会学概論★ (○鷹田佳典) .....	9
★日本国憲法★ (○川口かすみ) .....	11
★数学★ (○岩田光弘) .....	14
★生物学★ (○有賀早苗) .....	16
★化学★ (○三好洋) .....	18
★情報学概論★ (○鷹田佳典、岡田彩子、逸見功) .....	21
★日本語の表現★ (○越後敬子) .....	23
★英語R W I★ (○川崎修一) .....	25
★英語R W I★ (○遠藤花子) .....	27
★英語R W II★ (○川崎修一) .....	29
★英語R W II★ (○遠藤花子) .....	31
★英語L S★ (○ Edwards Wurzinger, Adriana E.) .....	33
★英語L S★ (○ David Broekema) .....	36
★中国語I★ (○王 牧) .....	40
★中国語II★ (○王 牧) .....	43
★韓国語I★ (○高昌弘) .....	46
★韓国語II★ (○高昌弘) .....	48
★基礎ゼミI★ (○鷹田佳典、遠藤公久、白井美穂、角田敦彦、渋谷真樹、井上明宏、有賀早苗、越後敬子) .....	51
★基礎ゼミII★ (○遠藤公久) .....	53
★基礎ゼミII★ (○鷹田佳典) .....	55
★基礎ゼミII★ (○白井美穂) .....	57
★基礎ゼミII★ (○角田敦彦) .....	59
★基礎ゼミII★ (○渋谷真樹) .....	61
★基礎ゼミII★ (○逸見功) .....	64
★基礎ゼミII★ (○有賀早苗) .....	66
★基礎ゼミII★ (○越後敬子) .....	68
★人体の構造と機能I (解剖生理学・生化学①)★ (○白井美穂) .....	70
★人体の構造と機能II (解剖生理学・生化学②)★ (○白井美穂) .....	72
★人体の構造と機能III (解剖生理学・生化学③および微生物学) ★ (○白井美穂) .....	74
★疾病の成り立ちと回復の促進I (病理学総論、疾病論：消化器、内分泌・代謝)★ (○白井美穂、安達章子、甲嶋洋平、中村純一、多羅尾朋子) .....	76
★看護学概論I★ (○岡田彩子) .....	78
★看護技術論I (援助的人間関係)★ (○松本佳子、小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘子、遠藤公久、宮本晶) .....	80
★看護技術論II (フィジカルアセスメント①)★ (○中村滋子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人) .....	82
★看護技術論III (基礎看護技術①)★ (○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人) .....	84
★看護技術論III (基礎看護技術②)★ (○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人) .....	87
★看護援助論II (生命の維持)★ (○仁昌寺貴子) .....	90
★看護援助論III (感染防御と清潔)★ (○喜多里己) .....	92
★コミュニティ論I★ (○鷹田佳典) .....	94
★コミュニティケアI (地域看護学)★ (○成木弘子、藤川あや) .....	96
★災害看護論★ (○内木美恵、橋爪朋子) .....	98
★災害看護活動論I★ (○織方愛、根岸京子、野口真貴子、内木美恵、橋爪朋子) .....	100
★看護援助論実習【レベルI】★ (○岡田彩子、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人、服部弓子、小田綾、松島史絵、宮本晶) .....	103